

II 学校教育

1. 立川市学校教育振興基本計画

平成18年に改正された教育基本法は、新しい時代の教育の基本理念を明示するとともに、「地方公共団体は地域における教育の振興を図るため、地域の実情に応じた教育に関する施策を策定し、実施しなければならないこと」や「政府が定める計画を参酌し、地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないこと」を新たに規定しました。さらに、教育基本法の改正に伴って、平成19年には、いわゆる教育三法と呼ばれる教育関係諸法の改正も行われました。

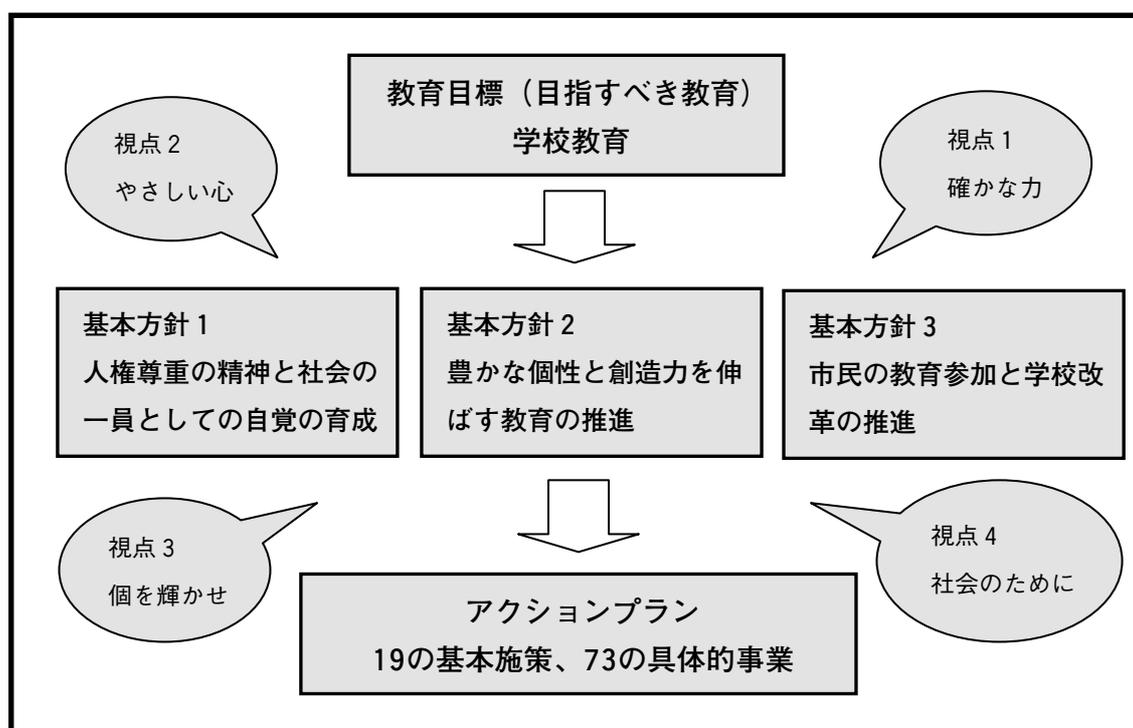
このような中で、本市の学校教育の基本的な計画を策定するため、平成22年12月に「立川市学校教育振興基本計画」を策定しました。

本計画は、立川市の学校教育の充実と発展に向け、平成22年度から26年度までの5年間の学校教育における目標や方向性を明らかにし、それらを実現するための具体的施策や事業を示しています。

計画は、第1章「総論」、第2章「計画の目標・施策展開の方向」、第3章「アクションプラン」、第4章「計画の推進にあたって」、「資料編」となっています。

また、「立川市の目指すべき子どもの姿」として示す学校教育の目標を実現するために3つの基本方針、19の基本施策、73の具体的事業を掲げています。

計画の目標や視点、施策展開の方向性等は、下図のとおりです。



2. 教育指導

(1) 平成24年度 学校教育の指針

立川市教育委員会の教育目標、基本方針並びに施策の方向を踏まえるとともに、学習指導要領改訂の基本方針に基づき、「生きる力」の育成の基盤となる確かな学力と豊かな心を育む教育の一層の充実を図る。そのために、「**確かな力 やさしい心 個を輝かせ 社会のために**」という教育目標・方針等に基づく学校教育の指針を示す。各学校においては、市の教育目標・方針等並びに本指針を生かして、学校の教育目標や基本方針、指導の重点等を設定し、創意ある学校経営を推進する。

【確かな力】

1 確かな力の育成を図る教育の推進（学習指導と健康教育の一層の充実）

ア 確かな力を育成するための特色ある教育課程の編成

児童・生徒の実態に基づき作成した授業改善推進プランを生かし、十分な授業時数の確保や適切な授業内容の実施を行うとともに、土曜日や長期休業日等を活用した、学校としての組織を生かした弾力的で特色ある教育課程を編成する。

イ 習熟度別の少人数指導など個に応じた指導による基礎・基本の確実な定着と知識・技能の習得

体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れた指導を行い、自ら学び自ら考える力と学ぶ意欲を育成し、主体的な学びを育くみ、個性の伸長を図る。また、習熟度別の少人数指導を適正に実施するとともに、発展的な学習・補充的な学習等により個に応じた指導を行い、一層の基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と知識・技能の習得を図る。

ウ 思考力・判断力・表現力等の育成と言語活動の充実

問題解決的な学習や各教科等における児童・生徒の言語活動の充実を通して、児童・生徒の思考力、判断力、表現力等を育む。その際、知識及び技能の活用を図る学習や探究活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整える。

エ 生きる力の基盤としての健康・体力づくりの推進

家庭との連携・協力を大切にして、生きる力の基盤となる食や睡眠などの生活習慣の確立を基に、たくましく生きるための健康増進を図り体力を向上させるとともに、食育リーダーを中心に意図的・計画的な食育の推進を図る。

オ 読書活動と情報教育の推進

知識を学び、感性を磨き、想像力を豊かなものにするために、市民と連携した読書活動を奨励するとともに、学校図書館や学校図書館支援指導員等の利活用に基づく読書活動を推進

する。また、ICTを効果的に活用した授業の推進により、思考力・判断力・表現力等の伸長を図るとともに、情報社会における正しい判断や望ましい態度を育て、情報社会で安全に生活するための危険回避の理解を図るなど情報モラルを身に付けさせるとともに、情報を適切に選択し活用する能力の育成を図る。

カ 家庭や小・中学校と幼稚園・保育園、高等学校等との連携及び、義務教育9年間を一貫した連携教育活動の推進

学校に関する家庭の理解を深めるため、学習指導の状況に関する情報を保護者に積極的に提供するとともに、「家庭学習改善プラン」の活用を通して、保護者と連携しながら児童・生徒に望ましい学習習慣を確立する。また、幼・保・小の連携を通して、小学校入学期に必要な個別の支援を把握し、学校の集団生活への適応を促進する指導を充実させるとともに、小・中学校と高等学校等との具体的な連携・推進を図る。また、小学校教育の成果や課題を踏まえ、小・中学校9年間を一貫した理念に基づいた計画のもとで、効果的な連携教育活動を推進する。

キ OJT及び教育センターを活用した教職員の資質と専門的な力量の向上

保護者や市民の願いを受け止め、児童・生徒の可能性を最大限に伸ばすために、週ごとの指導計画等を活用して学習のねらいを明確にした日々の授業の積み重ねを大切にする、とともに、教員の指導力の一層の向上を図る。そのために、校内研究や校内研修、教育委員会主催の各種研修等に積極的に取り組み、OJTを意図的・計画的に実施するなどして、指導方法や教材・教具、評価の一層の工夫を図る。また、教育センターの研修センターとしての機能を生かし、教職員の経験年数や学校教育の諸課題に対応した研修を推進し、教職員の資質と専門的な力量の向上を図る。

【やさしい心】

2 自他の生命を尊重し、やさしい心を育む教育の充実（人権教育、道徳教育の一層の充実）

ア 基本的人権の尊重と人権教育の一層の推進

児童・生徒に人権尊重の理念を正しく理解させ、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが実際の態度や行動に表れるようにする。そのために、人権教育の全体計画や年間指導計画に基づき、全教育活動を通じて人権教育を一層推進するとともに、小中連携した人権教育の充実を図る。

イ いじめのない豊かな人間関係の育成と道徳教育の充実

家庭との連携を密にし、かかわり合い、認め合い、支え合いを大切にして、いじめのない豊かな人間関係の育成に努める。そのために、道徳教育推進教師を中心に校内の指導体制を確立して、道徳の授業の充実・改善を図るとともに、道徳の時間を要として、各教科等における道徳教育を推進する。また、社会奉仕体験活動等を通して自己有用感を高め、生命を大切にするなどの豊かな心の育成に努める。

ウ 問題行動の早期発見・早期対応と教育相談の充実

信頼関係に基づいた教育の徹底を図り、家庭・地域等との連携を緊密にした生活指導体制を確立し、問題行動の早期発見・早期対応と未然防止、不登校児童・生徒の学校不適応の解消に努める。いじめや不登校、暴力行為等の解消を目指し、校内での組織的な指導体制を整えるとともに、個別適応計画書の作成及び活用、関係諸機関との連携や適応指導教室、スクールカウンセラーやハートフルフレンド、スクールソーシャルワーカー、学校・学級特別指導員、家庭と子供の支援員等の活用による継続的な指導をもとに、教育相談機能を一層充実させる。

エ 防災・安全教育の徹底と事故防止

東京都教育委員会発行の「安全教育プログラム」や副読本「地震と安全」を活用し、体験的な活動も取り入れながら各教科等で自然災害に関する正しい知識を習得させるとともに、自然災害等の危険に際して自らの命を守り抜くために主体的に行動する態度を育成する。また、交通安全、不審者及び不審電話への対応など、児童・生徒の安全の徹底を図るとともに、具体的な対処法を学習する等の体験的な活動を取り入れた実践的指導を行う。さらに、施設・設備の安全管理に努めるとともに、情報機器などにおける個人情報 の適正な管理の習慣化を図り、事故防止の徹底に努める。

【個を輝かせ】

3 よさを伸ばし、個を輝かせる教育の充実

ア 一人一人の児童・生徒のニーズに合った教育の充実

時間や環境の構造化を図り、児童・生徒一人一人が見通しをもって学校生活を過ごせるようにするとともに、一人一人にとって居場所のある温かい学級経営に努める。児童・生徒の状況等を見極め、保護者のニーズを受け止めて作成する個別指導計画を基に、地域の特別支援学校、医療機関、教育相談員、学校・学級特別指導員、特別支援教育支援員、通訳協力員、学生支援員、インターン学生等の活用、巡回相談、巡回指導、特別支援教育ヘルプデスク、就学支援シート等の活用により、特別支援教育コーディネーターを中心に支援を必要とする児童・生徒一人一人の教育的ニーズ等に応じた適切な指導及び必要な支援を組織的に行う。また、特別支援学級と通常学級との交流教育を積極的に推進し、障害等に対する正しい理解と認識を深め、共に生きる意識と態度を育てる。

イ 国際理解教育の推進

日本の文化や伝統についての理解や愛情を深め、異なる文化や伝統を尊重する教育を充実するとともに、多文化共生を推進する。また、外国語指導助手等の活用により、表現力及びコミュニケーション能力を育み、国際社会に生きる日本人としての自覚や、進んで国際社会に参加・協力する能力と態度を養う。

ウ キャリア教育の充実・推進

一人一人の社会的・職業的自立に向け、児童・生徒自身が自らの生き方を考え、自らの能

力や適性を正しく理解し、進路を選択することができるようにする。そのために、それぞれの発達段階に応じた基礎的・汎用的能力を身に付けさせるとともに、職場訪問や職場体験学習等を積極的に行い、一人一人の興味・関心、能力、適性等を尊重したキャリア教育を計画的に推進し、キャリア発達に応じた望ましい勤労観・職業観を育む。

エ クラブ活動・部活動等の充実と推進

クラブ活動や部活動の実施による学校生活の充実を図るとともに、生涯にわたり、スポーツ、文化、科学、芸術に親しんだり追究したりする資質や能力を高める。また、学年や学級を超えて育まれる人間関係を通して、自主性、協調性、責任感や連帯感等を育て、生きる力を培う。

オ 市民力との協働を生かしての特色ある学校づくりの推進

学習支援者や市民、学生のボランティアの活用等により、保護者や地域社会の教育への参画と開かれた学校づくり等を推進するとともに、学校、家庭、地域の相互の連携・協力を生かした教育を推進する。そして、市民等との連携を強化し、特色ある学校づくりを一層推進する。

【社会のために】

4 生き方を考え、社会のために役立とうとする意識を育む教育の充実

ア 家庭や地域と協力しての社会性の育成

家庭と連携して、集団生活や社会生活のルールやマナーを身に付け、権利と義務、自由と責任についての認識を深め、規範意識を醸成し公共心を育成する。また、多様な人々との交流を通して、豊かな社会性ととも、自らの生き方を考えるような教育を充実させる。

イ 体験的な活動を生かして社会に貢献する精神や生き方を考える力、実践力の育成

総合的な学習の時間等を組織的、計画的に実施し、地域の特色を生かして市民と連携しての勤労生産的な活動、自然体験や福祉体験、ボランティア体験、育児体験、防災教育、環境教育、ものづくりなどを充実させ、体験を通して社会に参画し貢献する精神を育み、自ら考える力や実践力を育成する。

ウ 郷土意識の育成

郷土のすぐれた文化や伝統を大切に、すすんで地域の行事や活動に参加するとともに、学校及び地域環境の美化活動に努め、郷土や地域を愛する心情や態度を養う。

エ 自己評価や学校関係者評価、学校評議員制度等を生かした開かれた学校づくりの推進

家庭や地域社会と学校とが信頼で結ばれ、社会全体で子どもを見守り、教え育む体制づくりを目指す。そのために、ホームページ等で学校経営計画を周知するとともに、学校評議員制度や学校評価（自己評価、学校関係者評価等）を学校改善に生かす。また、授業公開や立川教育フォーラム等を実施し、市民との連携を通して、保護者や地域社会の教育への参画と開かれた学校づくりを推進する。

(2) 平成24年度学校別教育目標

①小学校

| 学校名 | 教育目標 | 学校名 | 教育目標 |
|-------|--|---------|--|
| 第一小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え行動する子 ・心豊かで思いやりのある子 ・体をきたえ元気な子 | けやき台小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある子の育成 ・よく考える子の育成 ・たくましい子の育成 |
| 第二小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康で明るい子 ・進んで学習する子 ・心豊かで思いやりのある子 | 西砂小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある子ども ・自分の考えをもつ子ども ・健康で明るい子ども |
| 第三小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・よく考え実行する子 ・思いやりのある子 ・健康でたくましい子 | 南砂小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・元気な子 ・考える子 ・思いやる子 ・がんばる子 |
| 第四小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・心身ともにすこやかな子ども ・根気強くやりぬく子ども ・よく考え工夫する子ども ・なかよく助け合う子ども | 若葉小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・心豊かな子 ・自分の考えをもつ子 ・元気な子 |
| 第五小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある子 ・考える子 ・元気な子 ・責任を果たす子 | 幸小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え行う子ども ・ねばり強くやりぬく子ども ・なかよく力を合わせる子ども ・心と体をきたえる子ども |
| 第六小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・考える子 ・思いやりのある子 ・元気な子 | 松中小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・やさしく ・かしこく ・たくましく |
| 第七小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・元気な子 ・考える子 ・ねばり強い子 ・思いやりのある子 | 大山小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康で明るい子 ・よく考え進んで学習する子 ・心豊かに助け合う子 |
| 第八小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・よく考え実行する子ども ・心豊かで思いやりのある子ども ・心も体もたくましい子ども | 柏小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・よく考えて実行する子ども ・心豊かで思いやりのある子ども ・健康でたくましい子ども |
| 第九小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある子 ・自ら学ぶ子 ・たくましい子 | 上砂川小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考える子 ・心美しい子 ・たくましい子 |
| 第十小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・すこやかな子 ・思いやりのある子 ・考える子 | 新生小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学びを創る子ども ・温かい人間関係を創る子ども ・たくましい気力・体力をつくる子ども |

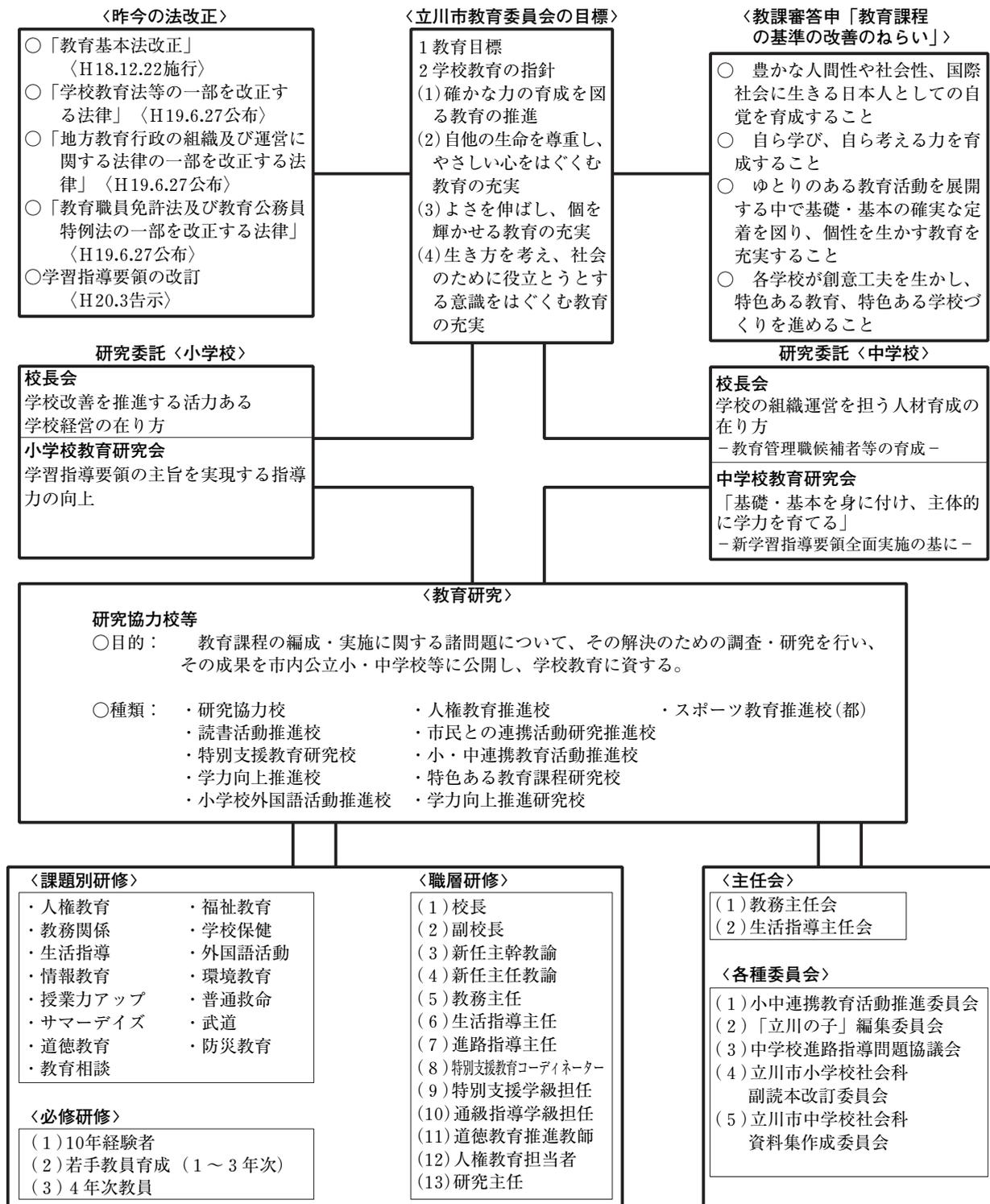
②中学校

| 学校名 | 教育目標 |
|---------|---|
| 立川第一中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・知性を磨いて個性を伸ばそう ・敬愛の心を深めよい市民になろう ・勤労を愛し責任を果たそう |
| 立川第二中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学ぼう ・思いやりの心をもとう ・理想の実現に努めよう |
| 立川第三中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな個性をもち、自主・自立・責任を重んじ、国際的な視野をもつ生徒を育成する ・規律と礼儀を重んじ、明朗で心身ともに健康な生徒を育成する ・勤労を重んじ、よく努力する生徒を育成する |
| 立川第四中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・創造的な知性を磨く ・健やかな心と体をもつ ・自他を慈しみ共に生きる態度を養う |
| 立川第五中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで勉強する人になろう ・あたたかい思いやりのある人になろう ・よいことは進んで実行する人になろう ・心身ともに健康な人になろう |
| 立川第六中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで学ぶ人 ・健康で心豊かな人 ・責任を果たす人 |
| 立川第七中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・深く考え、すすんで学ぶ ・温かく思いやり、正しく行う ・たくましく鍛え、みずから創る |
| 立川第八中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・命を大切に作る心をもつ人 ・知恵を身につけ活かせる人 |
| 立川第九中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・《やさしく》互いに人格を尊重し、協力する人になろう ・《かしこく》自ら求め自ら学び、道を切りひらく人になろう ・《たくましく》心身ともに健やかで、責任感のある人になろう |

(3) 教職員研修

教職員が担当職務の遂行に必要な資質の向上を図るとともに、今後の学校教育にかかわる諸課題に対応するため、各種の研修や研究活動を推進しています。本年度も、東京都教育委員会や、市教育委員会の研究指定を、市内のすべての公立学校が受けて校内研修を進めています。また、授業力向上に向けた実践的な研修やライフステージに合わせた研修を、今年度も実施しています。

①平成24年度 立川市学校教育における「教育課程への対応」に関する事業について



②研修事業

ア 課題別研修・職層研修

| 研修会名 | 内 容 |
|--------------------------|---|
| 人 権 教 育 | ・人権教育の基本 ・人権教育の実際 (全3回) |
| 生 活 指 導 | ・事例研究 (全1回) |
| 道 徳 教 育 | ・道徳教育の実際 (全3回) |
| 特 別 支 援 教 育 | ・特別支援教育についての基本的な理解にかかわる研修等 (全7回) |
| 教 育 相 談 | ・教育相談 (全2回) |
| 管 理 職 等 | ・新任校長－校長の役割と実際 ・新任副校長－副校長の役割と実際 ・新任主幹教諭研修－主幹教諭の役割と実際 ・教務主任、生活指導主任－市の教育課題の解決等 |
| 授 業 力 ア ッ プ | ・各教科等のモデル授業（9回）・特別支援教育について（1回） (全10回) |
| 達 人 に 学 ぶ サ マ ー デ イ ズ | ・一般教養 (全2回) |
| 外 国 語 活 動 研 修 | ・外国語活動の実際 (全4回) |

イ 必修研修

| 研修会名 | 内 容 |
|---------------------|---|
| 10年経験者研修 | ○校外における研修 ・学習指導 ・生活指導・進路指導 ・公務員としての資質向上 ○校内における研修 ・学習指導 ・生活指導、進路指導 ・公務員としての資質向上 |
| 若手教員育成研修 (初任者研修) | ○教育センター等における研修 ○課題別研修 ○宿泊研修 ○校内における研修 |
| 2 年 次 研 修 | ○センター研修 ○校内における研修 |
| 3 年 次 研 修 | ○センター研修 ○校内における研修 |
| 4 年 次 研 修 | ○校内における研修 |

ウ 宿泊研修

| 研修会名 | 内 容 |
|-----------|-----------------------|
| 初 任 者 研 修 | ・立川市八ヶ岳山荘における研修（2泊3日） |

③教育研究事業

市教委の学校教育の指針「確かな力 やさしい心 個を輝かせ 社会のために」を実現するために実践研究を行い、その成果と課題について公開していきます。

ア 研究協力校

・平成23年度～24年度

| 学 校 名 | 研 究 主 題 |
|-----------|---|
| 第 二 小 学 校 | 自らの考えを進んで伝え合う児童の育成 ～対話力をいかした授業を通して：国語科～ |
| 第 十 小 学 校 | 自ら考え、豊かにかかわり合うことのできる児童の育成 ～言語活動・言語環境の充実を通して～ |
| けやき台小学校 | 自分の考えを互いに伝え合える児童をめざして |
| 西 砂 小 学 校 | 意欲的に課題に取り組み、自分の力で解決する児童の育成 ～算数科の指導を通して～ |
| 幸 小 学 校 | 自分やみんなを大切にし、思いを伝えられる子の育成 |
| 柏 小 学 校 | 健康でたくましい児童の育成 ～運動の楽しさを味わい、進んで体を動かす子どもをめざして～ |
| 立川第四中学校 | 言語活動を活発化し、学力向上の基盤作りを図る |

・平成24年度～25年度

| 学 校 名 | 研 究 主 題 |
|-----------|--|
| 第 一 小 学 校 | めざせ 健康生活 柴崎の子 |
| 第 三 小 学 校 | 自ら進んで協力し合い、問題解決する子を育てる特別活動 |
| 第 四 小 学 校 | 確かな学力をつけるための指導法の工夫 ～考えを深めるための言語活動の充実と表現力の向上をめざして～ |
| 第 五 小 学 校 | 伝え合い、受けとめ合い、高め合う児童を育てる |
| 第 六 小 学 校 | 瞳を輝かせて学ぶ子どもの育成 ～学び合いや高め合いを大切にした指導を通して～ |
| 第 七 小 学 校 | 一人一人が自らの考えをもち、豊かに表現し合う児童の育成 ～特別支援の指導を生かして～ |
| 南 砂 小 学 校 | 根拠を基にして考え、表現する力の育成 |
| 若 葉 小 学 校 | 一人一人の力を高める教育活動の展開 ～豊かな人間関係をもとにして～ |
| 松 中 小 学 校 | 自分の思いや考えをもち、相手に伝えようとする子供の育成 |
| 大 山 小 学 校 | 「まちづくり教育」でコミュニケーション能力の育成を図る |
| 立川第一中学校 | 「基礎・基本の習得と思考力・判断力・表現力等の育成」 ～習得した内容を活用する学習活動を取り入れた授業展開の工夫～ |
| 立川第二中学校 | 「思考力・判断力・表現力」をはぐくむ「言葉の力」 ～伝え合う力をもった生徒の育成～ |
| 立川第三中学校 | 生徒の学力向上を図るための評価の在り方について ～生徒の学習への関心・意欲と教師の授業力を高めるために～ |
| 立川第五中学校 | 基礎学力を向上させる教育活動の推進 |
| 立川第六中学校 | 基礎的・基本的な学力の定着と学習意欲の向上 ～わかる喜び・できる自信を育む授業の創造～ |
| 立川第九中学校 | 豊かな表現力を高めるための言語活動の充実 |

イ 学力向上推進校

・平成23年度～24年度

| 学校名 | 研究主題 |
|---------|------------------|
| 立川第七中学校 | 学習習慣の定着を図る指導法の工夫 |

ウ 特別支援教育研究校

・平成23年度～24年度

| 学校名 | 研究主題 |
|---------|-------------------------------|
| 立川第八中学校 | 通常学級における特別支援教育の視点を生かした教育活動の充実 |

エ 人権教育推進校

・平成23年度～24年度

| 学校名 | 研究主題 |
|-------|----------------------------------|
| 新生小学校 | 「温かい人間関係を創る子供」の育成 人権教育の充実を通して |

・平成24年度～25年度

| 学校名 | 研究主題等 |
|--------|--------------------------------------|
| 上砂川小学校 | 自分と他者を大切にして学び合う児童の育成 ～国語科の指導を通して～ |

オ 市民との連携活動研究推進校

・平成24年度～25年度

| 学校名 | 研究主題等 |
|-------|--|
| 第九小学校 | 学習支援を取り入れた”伝え合う力”を高める授業研究 ～自分の思いを伝えたり、想いを受けとめたりできる子を育てるために～ |

カ 学力向上推進研究校

・平成24年度～平成25年度

| 学校名 | 研究主題等 |
|---------|--|
| 第八小学校 | 相手の気持ちを考え言葉を伝え合う児童の育成～学力向上をめざして |
| けやき台小学校 | 児童一人一人の学力向上を目指して ～授業改善と補習授業による確かな学力の育成～ |
| 立川第一中学校 | 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」 ～保護者・地域と協働を通して～ |

キ 国や都の研究校等

○「情緒障害等通級指導学級」の教育課程の研究・開発事業研究協力校（東京都教育委員会）

| 学校名 | 研究主題等 |
|-------|------------------------------------|
| 第七小学校 | 情緒障害通級指導学級における個別指導計画の作成と適切な指導方法の実施 |

○言語能力向上推進事業研究協力校（東京都教育委員会）

| 学校名 | 研究主題等 |
|---------|--|
| 立川第二中学校 | 「思考力・判断力・表現力」をはぐくむ「言葉の力」 ～伝え合う力をもった生徒の育成～ |

○早期連携・早期支援の充実に関するモデル事業（東京都教育委員会）

○スポーツ教育推進校（東京都教育委員会）

第一小学校・第三小学校・西砂小学校・柏小学校・立川第九中学校

ク 研究委託

新教育課程の実施に対応し、教科、領域等の指導内容や指導方法を研究主題とした研究委託をします。

| グループ名 | 代表者名 | 研究主題 |
|----------|---------------------|---|
| 小学校校長会 | 井上 和芳 (第三小学校長) | 学校改善を推進する活力がある学校経営の在り方 |
| 中学校校長会 | 國島 健二 (立川第一中学校長) | 学校の自主性の確立と校長の役割 |
| 小学校教育研究会 | 飯田 芳男 (第八小学校長) | 学習指導要領の趣旨を実現する指導力の向上 |
| 中学校教育研究会 | 國島 健二 (立川第一中学校長) | 「基礎・基本を身に付け、主体的に学力を育てる」 -新学習指導要領全面実施の基に- |

(4) 立川市立学校使用教科用図書

ア 立川市立小学校使用教科書

| 科目 | 種目 | 発行者 |
|------|------|----------|
| 国語 | 国語 | 教育出版(株) |
| 国語 | 書写 | 教育出版(株) |
| 社会 | 社会 | 東京書籍(株) |
| 社会 | 地図 | (株)帝国書院 |
| 算数 | 算数 | 学校図書(株) |
| 理科 | 理科 | 教育出版(株) |
| 生活 | 生活 | 教育出版(株) |
| 音楽 | 音楽 | (株)教育芸術社 |
| 図画工作 | 図画工作 | 開隆堂出版(株) |
| 家庭 | 家庭 | 東京書籍(株) |
| 体育 | 保健 | 東京書籍(株) |

※上記の教科書は平成23年度から平成26年度まで使用します。

イ 立川市立中学校使用教科書

| 科目 | 種目 | 発行者 |
|-------|-------|------------|
| 国語 | 国語 | 光村図書出版(株) |
| 国語 | 書写 | 光村図書出版(株) |
| 社会 | 地理的分野 | (株)帝国書院 |
| 社会 | 歴史的分野 | 東京書籍(株) |
| 社会 | 公民的分野 | 東京書籍(株) |
| 社会 | 地図 | (株)帝国書院 |
| 数学 | 数学 | 東京書籍(株) |
| 理科 | 理科 | 東京書籍(株) |
| 音楽 | 一般 | 教育出版(株) |
| 音楽 | 器楽合奏 | 教育出版(株) |
| 美術 | 美術 | 光村図書出版(株) |
| 保健体育 | 保健体育 | (株)学研教育みらい |
| 技術・家庭 | 技術分野 | 東京書籍(株) |
| 技術・家庭 | 家庭分野 | 東京書籍(株) |
| 外国語 | 英語 | (株)三省堂 |

※上記の教科書は平成24年度から平成27年度まで使用します。

③ハートフルフレンドの派遣

不登校気味の児童・生徒や不登校児童・生徒と触れ合い、相談相手、学習の支援者や遊び相手となることで、学校不適應や不登校児等の未然防止と改善・解消を図るため、平成15年度から国の委託事業を受けて小学校4校から事業を始めています。毎年3校ずつ増やし、委託事業が終了した平成21年度より、全額市費ですべての小・中学校に週1日配置し、相談体制を確立しています。

④スクールカウンセラーの配置

小・中学生の様々な悩み事の相談に応じ、いじめや不登校、暴力行為や学校不適應等の改善・解消を図るため、臨床心理士の資格を有するスクールカウンセラーを小・中学校に配置し、カウンセリングを行っています。スクールカウンセラーは、東京都が雇用し、全中学校と小学校8校に週1日配置しています。

⑤スクールソーシャルワーカーの派遣

いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など、生活指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童・生徒が置かれた様々な環境に働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりして、問題を抱える児童・生徒に支援を行います。スクールソーシャルワーカーは、東京都が雇用し、派遣要請のあった学校にスクールソーシャルワーカーを派遣します。

(6) 特別支援教育

①特別支援学級

障害のあるすべての児童・生徒の教育の一層の充実を図るために、立川市教育委員会では、小学校11校、中学校6校に特別支援学級を設置しています。これらの学級では、障害のある児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行っているほか、指導用備品なども充実させるように努め、きめ細かな対応を図っています。学級は知的障害、情緒障害、難聴・言語障害に分けられており、このうち、情緒障害、難聴・言語障害学級については在籍校があり、一定時限のみ特別支援学級へ通う通級制度となっています。

ア 設置校

(平成24年5月1日現在)

| 学校名 | 学級名 | 種別 | 開設年月 | 学級数 | 児童・生徒数 | 教員数 |
|-------|--------|------|-------|-----|--------|-----|
| 第一小学校 | あおぞら学級 | 知的障害 | 昭29.4 | 2 | 14 | 3 |
| 第二小学校 | あけぼの学級 | 情緒障害 | 昭55.4 | 5 | 42 | 6 |
| 第五小学校 | こだま学級 | 知的障害 | 昭32.6 | 3 | 18 | 4 |
| 第七小学校 | ことばの教室 | 言語障害 | 平18.4 | 3 | 43 | 4 |

| | | | | | | |
|---------|------------|---------|-------|---|----|---|
| 第七小学校 | あすなろ学級 | 情緒障害 | 平21.5 | 2 | 16 | 3 |
| 第九小学校 | くわのみ学級 | 知的障害 | 昭59.4 | 3 | 23 | 4 |
| 第十小学校 | すずかけ学級 | 知的障害 | 昭50.4 | 2 | 12 | 3 |
| けやき台小学校 | きこえとことばの教室 | 難聴・言語障害 | 昭51.4 | 4 | 56 | 6 |
| 若葉小学校 | たんぼぼ学級 | 知的障害 | 昭63.4 | 1 | 6 | 2 |
| 松中小学校 | はらっぱ学級 | 情緒障害 | 平18.4 | 5 | 44 | 6 |
| 新生小学校 | ひまわり学級 | 知的障害 | 平16.4 | 1 | 5 | 2 |
| 立川第一中学校 | I組 | 知的障害 | 昭53.4 | 2 | 13 | 3 |
| 立川第二中学校 | 6組 | 知的障害 | 昭39.4 | 2 | 12 | 3 |
| 立川第三中学校 | | 情緒障害 | 平24.4 | 1 | 4 | 2 |
| 立川第五中学校 | 10組 | 知的障害 | 昭53.4 | 3 | 21 | 4 |
| 立川第六中学校 | | 情緒障害 | 平元.4 | 2 | 15 | 3 |
| 立川第八中学校 | | 情緒障害 | 平9.4 | 1 | 8 | 2 |

②就学・転学相談

障害のある幼児・児童・生徒の就学については、教育相談室に就学相談員を配置し、保護者からの相談に応じて、一人一人の子どもに合った教育の場を共に考え、適切な就学ができるよう相談を行っています。また、通常の学級に在籍する児童・生徒や転入してきた児童・生徒が特別支援学級等へ転学・入級を希望する場合は、随時、転学相談を受け付けています。

ア 平成23年度就学・転学相談件数

| 区分 | 小学校 | 中学校 | 計 | 区分 | 小学校 | 中学校 | 計 |
|------|-----|-----|----|------|-----|-----|----|
| 就学相談 | 72 | 17 | 89 | 転学相談 | 13 | 2 | 15 |

(7) 国際理解教育

国際化が進展する中であって、これからの学校教育においては、世界の人々の生活や文化に対する理解を深めるとともに、わが国の文化や伝統を正しく認識し、互いに尊重し合って行動できる人間を育成することが求められています。立川市教育委員会では、こうした点を踏まえて、国際理解教育の推進を重要な課題としてとらえ、「学校教育の指針」の中に盛り込むとともに、各種の関連事業を実施し、その推進を図っています。

①外国人留学生・研修生との交流

立川市では、姉妹都市であるアメリカ・サンバーナディノ市との交換留学生制度を実施し、サンバーナディノ市の高校生が毎年来日しています。また、立川四中国際交流支援ネットワークという民間団体が、立川マラソンが縁で交流が始まったニューカレドニアの中学校の研修生を、隔年で受け入れています。このような機会をとおして、立川第四中学校の生徒と相互交流を図ったり、互いの国の生活、文化、習慣に慣れたりすることで国際親善・国際理解を図っています。

②市内の外国人学校との交流

市内にある西東京朝鮮第一初中級学校や横田基地内の横田イーストスクールなどを市内の小学生が訪問したり、訪問を受けたりし、スポーツや音楽を通じて交流を図っています。また、西東京朝鮮第一初中級学校の中学生が中学校の連合音楽会に参加するなどし、練習の成果を競い合うとともに、交流を深めています。

③外国人英語指導員（ALT）の配置

中学校では、国際性を育てるため、また「聞く・話す」能力向上のため、各中学校に外国人英語指導員を配置し、英語教育の充実と国際理解教育の推進を図っています。

小学校では、外国語活動への対応として、外国人英語指導員（ALT）を配置し、国際理解教育と外国語活動の充実を図っています。

④通訳協力員の配置

小・中学校に編入する帰国子女や外国人の児童・生徒で、日本語の理解が十分でない子どもたちのために、主に授業の通訳をする通訳協力員を在籍校に配置し支援を行っています。

（8） 情報教育

情報化社会が急速に進展する中、小・中学校では、総合的な学習の時間や技術・家庭科（中学校）等で情報教育に取り組んでいます。立川市教育委員会では、これまで、コンピュータ機器の導入を順次進めてきました。平成11年度に、全小・中学校にインターネットを接続して以来、コンピュータをはじめとする教育機器を活用した授業の工夫・実践を重ね、情報教育の推進を図っています。

①コンピュータ機器の整備

教育用コンピュータは平成12年度に導入が開始され、平成14年度までに小学校各校で20台、中学校各校で40台が導入されました。平成17年度には小学校で1校につき21台（1台は先生機）、平成20年度に中学校で1校につき42台（1台は先生機）を更新し、平成23年度には授業用として地上デジタルテレビに接続可能なノートパソコンを各校3台ずつ整備しました。これらの教育用コンピュータは、総合的な学習の時間の中で調べ学習に利用する他、技術・家庭科でパソコンの操作やソフトの活用方法を学ぶとともに、理科や数学、国語等の教科でも利用しています。

教職員用コンピュータについては、平成17年度に小中学校へ1校につき9台整備しました。また平成19年度に教員用コンピュータを小学校に239台、中学校に130台整備しました。平成21年度には、校務用コンピュータを小学校に122台、中学校に48台整備しました。平成23年度には、教職員用コンピュータを小中学校に合計72台を追加整備し、教職員用コンピュータの1人1台化を達成しました。

学校図書館システムについては、平成19年度に松中小学校、平成20年度に第三小学校、平成21年度に西砂小学校、平成22年度に第二・第六・第九・けやき台・南砂・幸・大山・上砂川・新生小学校の9校に導入しました。さらに平成23年度、第一・第四・第五・第七・第八・第十・若葉・柏小学校の8校に導入し、小学校全校への導入が完了しました。このシステムにより、図書の貸し出しや返却がスムーズに行われるようになりました。

②インターネットの活用

市の地域情報化計画の一環として、市内のCATV「マイ・テレビ」の回線を利用した双方向通信実験というかたちで、平成9年度から市内の小・中学校3校（平成10年度は4校）でインターネットの利用を開始しました。平成11年度からは、全小・中学校に双方向通信用の各2台のコンピュータを設置し、その後、パソコン室の整備に伴い、パソコン室で学習をする際にインターネットが利用できるようになりました。調べ学習等の情報収集や電子メールによる情報の交換を行い、ホームページの開設など活用範囲を広めています。平成17年度には、全小・中学校にインターネット用コンピュータ各2台を職員室に配備しました。

③地上デジタル放送対応テレビの整備

平成21年度国の補助金等を活用し、全小学校に410台、全中学校に156台を普通教室等に整備しました。地上デジタル放送対応テレビは、パソコンやデジタルカメラと連携することにより、わかりやすい授業ができるなど、大きな学習効果があります。

(9) キャリア教育・進路指導

生徒一人一人の興味、関心、能力、適性を尊重したキャリア教育・進路指導を推進するため、中学校進路指導問題協議会を設け、各学校におけるキャリア教育・進路指導の実態把握を行うとともに、望ましいキャリア教育・進路指導の検討、指導資料等の作成を行っています。そして、各学校では、協議会の検討結果などを踏まえてキャリア教育・進路指導の計画を立て、主に1年生で地域の職場訪問、2年生で職場体験学習や高校等の上級学校への訪問などを行い、生き方や進路への興味、関心を高めさせるとともに、自己理解を進め、3年生での具体的な進路選択の能力を養います。また、各学校には進路学習室等が設けられ、進路に関連する資料を備えて、生徒への情報提供に努めているほか、休み時間や放課後を利用して、教師が生徒からの相談に応じています。

①平成24年度（23年度卒業）中学校課程・学科別進学状況

| 学校 | 性別 | 男 | | 女 | | 計 | | |
|-----------|-----|------|------|-------|------|-------|-------|-------|
| | | 人数 | 比率 | 人数 | 比率 | 人数 | 比率 | |
| 高等学校 | 全日制 | 普通科 | 454 | 76.5% | 500 | 80.8% | 954 | 78.7% |
| | | 総合学科 | 3 | 0.5% | 11 | 1.8% | 14 | 1.2% |
| | | 農業科 | 2 | 0.3% | 7 | 1.1% | 9 | 0.7% |
| | | 工業科 | 44 | 7.4% | 7 | 1.1% | 51 | 4.2% |
| | | 商業科 | 8 | 1.4% | 15 | 2.4% | 23 | 1.9% |
| | | その他 | 8 | 1.4% | 18 | 2.9% | 26 | 2.2% |
| | | 計 | 519 | 87.5% | 558 | 90.1% | 1,077 | 88.9% |
| | 定時制 | 普通科 | 33 | 5.5% | 39 | 6.3% | 72 | 5.9% |
| | | 農業科 | 1 | 0.2% | 1 | 0.2% | 2 | 0.2% |
| | | 工業科 | 9 | 1.5% | 0 | 0.0% | 9 | 0.7% |
| | | 商業科 | 1 | 0.2% | 1 | 0.2% | 2 | 0.2% |
| | | 総合学科 | 6 | 1.0% | 9 | 1.5% | 15 | 1.2% |
| | | その他 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| | | 計 | 50 | 8.4% | 50 | 8.2% | 100 | 8.2% |
| 特別支援学校高等部 | | 8 | 1.4% | 4 | 0.6% | 12 | 1.0% | |
| 高等専門学校 | | 5 | 0.8% | 4 | 0.6% | 9 | 0.7% | |
| 高等学校通信制 | | 11 | 1.9% | 3 | 0.5% | 14 | 1.2% | |
| 合計 | | 593 | 100% | 619 | 100% | 1,212 | 100% | |

②年度別進路状況の推移

| 年 度 | 卒業者数 | 進 学 者 | | 専修学校等 入 学 者 | | 就 職 者 | | 就職進学者 | | そ の 他 | |
|------|-------|-------|-------|----------------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | | 人数 | 比率 | 人数 | 比率 | 人数 | 比率 | 人数 | 比率 | 人数 | 比率 |
| 17年度 | 1,217 | 1,160 | 95.3% | 30 | 2.4% | 14 | 1.2% | 0 | 0.0% | 13 | 1.1% |
| 18年度 | 1,243 | 1,188 | 95.6% | 24 | 1.9% | 16 | 1.3% | 1 | 0.1% | 14 | 1.1% |
| 19年度 | 1,256 | 1,204 | 95.9% | 20 | 1.6% | 9 | 0.7% | 0 | 0.0% | 23 | 1.8% |
| 20年度 | 1,246 | 1,196 | 96.0% | 14 | 1.1% | 8 | 0.6% | 0 | 0.0% | 28 | 2.3% |
| 21年度 | 1,294 | 1,230 | 95.1% | 35 | 2.7% | 8 | 0.6% | 0 | 0.0% | 21 | 1.6% |
| 22年度 | 1,259 | 1,199 | 95.2% | 29 | 2.3% | 8 | 0.7% | 0 | 0.0% | 23 | 1.8% |
| 23年度 | 1,242 | 1,212 | 97.5% | 27 | 2.2% | 1 | 0.1% | 0 | 0.0% | 2 | 0.2% |

(10) 旅行・集団宿泊的行事

平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについて、望ましい体験を積むとともに、児童・生徒相互や教師と日常生活では得られない交流を図ることを目的に、小学校では八ヶ岳自然教室と日光移動教室を、中学校では移動教室と関西方面への修学旅行を実施しています。

①八ヶ岳自然教室

小学5年生を対象に各学校ごとに春から秋にかけて実施するもので、立川市八ヶ岳山荘に宿泊し、2泊3日の行程でハイキングや自然観察、飯ごう炊さん、キャンプファイアーなどを行い、八ヶ岳の自然に親しむとともに、集団生活の中での生活習慣を身に付けます。

②日光移動教室

従来学校行事として行われてきた日光修学旅行を、学習指導の体験学習として位置付け、平成7年度から小学6年生を対象に日光移動教室を実施しています。毎年6月に実施するもので、日光の湯ノ湖畔に宿泊し、2泊3日の行程で名所・旧跡を見学したり、自然の中を散策したりし、様々な体験学習をするとともに、小学校生活最後の思い出として集団生活を楽します。

③中学校移動教室

主に1年生を対象に、各学校ごとに計画・実施されており、1泊や2泊で立川市八ヶ岳山荘等を利用し、冬季にスキー教室を行っています。

④中学校修学旅行

中学3年生が中学校生活最後の思い出として、5～6月に2泊3日の行程で歴史ある都市を訪れます。訪問先は学校ごとに計画し、主に京都・奈良の名所や旧跡を見学しています。最近では生徒の自主性・自律性を育む視点から班行動の時間を設けており、それぞれが事前に下調べをして施設を見学し、見聞を広めています。

(11) 立川教育フォーラム

市内の小・中学校の教育実践を広く市民に紹介し、立川市の教育への理解と関心を高めていただくために、第8回立川教育フォーラムを平成24年1月21日に開催しました。

当日は、小学校1校・中学校1校が発表を行うとともに、シンガーソングライターの大野靖之さんを講師としてお招きし「夢・希望、そして家族とは、命とは…」という演題で、講演を行いました。

3. 就学援助

経済的理由により、児童・生徒に義務教育を受けさせることが困難な場合には、関係法令に基づいて、学用品費や給食費などを援助し、教育の機会均等を図っています。援助の対象は、立川市民で立川市立の小・中学校及び国・公立小中学校に通う児童・生徒の保護者のうち、生活保護法に定める「要保護者」と、世帯の収入によって教育委員会がこれに準ずると認めた「準要保護者」で、これらの世帯に対し、学用品・通学用品費、給食費、校外活動費、医療費など7種類の費目の援助を行っています。援助する費目や額は、要保護・準要保護の別、学校、学年によって多少異なります。なお、要保護者の世帯については、これら就学援助費の一部を教育扶助として福祉保健部生活福祉課から支給しています。

(1) 認定者数の推移

| 年度 | 区分 | 在籍者数 | 区分別認定者数 | |
|------|-----|--------|---------|-------|
| | | | 要保護 | 準要保護 |
| 21年度 | 小学校 | 8,840 | 194 | 1,357 |
| | 中学校 | 3,786 | 121 | 747 |
| | 計 | 12,626 | 315 | 2,104 |
| 22年度 | 小学校 | 8,834 | 203 | 1,450 |
| | 中学校 | 3,756 | 124 | 813 |
| | 計 | 12,590 | 327 | 2,263 |
| 23年度 | 小学校 | 8,661 | 203 | 1,419 |
| | 中学校 | 3,745 | 122 | 763 |
| | 計 | 12,406 | 325 | 2,182 |

※在籍者数は5月1日現在数で、平成23年度からは通常級のみの数

※区分別認定者数は年度末（3月31日現在）数

※いずれも立川市立小・中学校分のみ

(2) 支給費目と金額

| 費用 | 支給金額 |
|---------------|--|
| 給食費 | 実費相当額 |
| 学用品・通学用品費（年額） | 小学1年 11,110円 小学2～6年 13,310円 中学1年 21,780円 中学2・3年 23,980円 |
| 校外活動費 | 実費相当分 |
| 新入学学用品費 | 小学1年 19,900円 中学1年 22,900円 |
| 修学旅行費 | 実費相当額 |
| 医療費 | 本人負担分 |
| 卒業アルバム代 | 小学校 4,500円 中学校 5,000円 |

※医療費の支給は対象となる疾病のみ

※支給金額は平成23年度の金額

4. 学校保健

生活様式や社会環境などの著しい変化は、運動能力の低下や、いじめや不登校といった心の健康に関する問題の増加など、子どもたちの心身に様々な影響を与えています。また、薬物乱用や性の逸脱行為、生活習慣病、感染症など、健康に関する現代的課題も深刻化しています。立川市教育委員会では、こうした状況を踏まえ、学校や学校保健会などとも連携を図って、定期健康診断をはじめとする各種の検診を実施しているほか、児童・生徒の心と体の健康づくりを目指し、様々な行事を通じて、その意識高揚に努めています。

(1) 主な検診と事業

①定期健康診断

毎年4月から6月にかけて、全児童・生徒を対象に身長、体重および座高の計測や、学校医による内科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科の健康診断などを実施し、診断結果に基づいて、疾病の予防および治療を指導しています。

②結核診断

平成15年度から小・中学校におけるBCG接種が廃止となったため、全児童・生徒に問診票を配布し、専門家で構成する結核対策委員会の判断により、精密検査を必要とされる場合には、ツベルクリン反応検査またはレントゲン直接撮影を行うよう指導しています。

③心臓検診

小学1年生・中学1年生全員および学校医が必要と認めた児童・生徒を対象に問診票と心電図による1次検診を実施し、その結果、精密検査が必要と認めた児童・生徒には、胸部X線直接撮影などによる2次検診を実施しています。さらに異常所見者に対しては、管理説明会を行っています。

④尿検査（腎臓病検査）

全児童・生徒を対象に尿検査を実施し、1次検査でたんぱく、糖、潜血を調べ、所見者を対象に2次検査を実施しています。さらに異常所見者に対しては、3次検査および管理説明会を行っています。

⑤ぎょう虫卵検査

小学1～3年生を対象にセロハンテープ方式による1次検査を実施し、その結果、陽性者について2次検査を行います。

⑥就学時健康診断

翌年度就学予定の児童を対象に、内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科等の健康診断を毎年11月ごろに実施しています。

⑦健康努力児童・生徒の表彰

年間を通して体力の向上に努めたり、病気を克服して積極的に学校行事に参加したり、学校の保健活動に取り組んだなど、他の模範になった児童・生徒を1年に1回表彰しています。平成23年度は、76人の児童および9人の生徒が表彰を受けました。

⑧歯の衛生週間児童・生徒ポスター展

毎年、歯の衛生に関する正しい知識等を啓発するため、小学5・6年生及び中学1年生の作品展をアイムギャラリーで実施しています。

平成23年度は、応募作品のうち、小学生の作品250点と中学生の作品100点を展示しました。

⑨AED（自動体外式除細動器）の設置

平成17年度末に市内の小・中学校全29校にAEDを設置し、緊急時の対応に備えています。

(2) 児童・生徒の体位平均値（平成23年度）

①小学校

| 区分 | | 身長 (cm) | | | 体重 (kg) | | | 座高 (cm) | | |
|----|---|---------|-------|-------|---------|------|------|---------|------|------|
| | | 市平均 | 都平均 | 全国平均 | 市平均 | 都平均 | 全国平均 | 市平均 | 都平均 | 全国平均 |
| 1年 | 男 | 117.1 | 117.1 | 116.6 | 21.5 | 21.4 | 21.3 | 64.9 | 65.0 | 64.9 |
| | 女 | 115.7 | 115.7 | 115.6 | 20.7 | 20.8 | 20.8 | 64.4 | 64.4 | 64.4 |
| 2年 | 男 | 122.9 | 123.2 | 122.6 | 24.4 | 24.2 | 24.0 | 67.7 | 68.0 | 67.7 |
| | 女 | 121.2 | 121.8 | 121.6 | 23.2 | 23.4 | 23.4 | 66.8 | 67.3 | 67.2 |
| 3年 | 男 | 127.9 | 128.6 | 128.2 | 26.6 | 27.2 | 27.0 | 69.8 | 70.4 | 70.2 |
| | 女 | 127.6 | 127.8 | 127.4 | 26.3 | 26.4 | 26.4 | 69.8 | 70.1 | 69.9 |
| 4年 | 男 | 133.5 | 134.4 | 133.5 | 30.0 | 30.5 | 30.3 | 72.4 | 73.0 | 72.6 |
| | 女 | 133.7 | 133.9 | 133.5 | 29.9 | 29.6 | 29.8 | 72.7 | 72.8 | 72.7 |
| 5年 | 男 | 138.5 | 138.6 | 138.8 | 33.4 | 33.3 | 33.8 | 74.6 | 74.7 | 74.9 |
| | 女 | 139.6 | 140.1 | 140.2 | 33.4 | 33.6 | 34.0 | 75.5 | 75.7 | 75.9 |
| 6年 | 男 | 145.2 | 146.3 | 145.0 | 37.8 | 39.2 | 38.0 | 77.7 | 78.2 | 77.6 |
| | 女 | 146.7 | 146.5 | 146.7 | 38.3 | 38.2 | 38.8 | 79.1 | 79.1 | 79.2 |

②中学校

| 区分 | | 身長 (cm) | | | 体重 (kg) | | | 座高 (cm) | | |
|----|---|---------|-------|-------|---------|------|------|---------|------|------|
| | | 市平均 | 都平均 | 全国平均 | 市平均 | 都平均 | 全国平均 | 市平均 | 都平均 | 全国平均 |
| 1年 | 男 | 152.4 | 153.1 | 152.3 | 44.3 | 43.7 | 43.8 | 81.0 | 81.6 | 81.2 |
| | 女 | 152.4 | 152.5 | 151.9 | 43.9 | 43.2 | 43.6 | 82.2 | 82.3 | 82.1 |
| 2年 | 男 | 159.5 | 159.9 | 159.6 | 48.8 | 49.2 | 49.0 | 84.7 | 84.9 | 84.9 |
| | 女 | 155.0 | 155.5 | 155.0 | 47.0 | 47.0 | 47.1 | 83.6 | 84.1 | 83.9 |
| 3年 | 男 | 166.0 | 165.8 | 165.1 | 55.1 | 54.5 | 54.2 | 88.3 | 88.3 | 88.1 |
| | 女 | 155.8 | 157.3 | 156.6 | 49.3 | 50.1 | 49.9 | 84.3 | 85.3 | 84.9 |

(3) 平成23年度定期健康診断結果 (注)難聴は小学1・2・3・5年生、中学1・3年生で実施

| 区分 | | 小学校 | | | | | | | 中学校 | | | |
|-------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 |
| 受診者数 | | 1,408 | 1,470 | 1,511 | 1,388 | 1,452 | 1,419 | 8,648 | 1,270 | 1,219 | 1,206 | 3,695 |
| 栄養 | 栄養不良 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 1 | 1 | 5 |
| | 肥満傾向 | 10 | 9 | 20 | 22 | 17 | 21 | 99 | 13 | 3 | 14 | 30 |
| 脊柱側弯症 | | 1 | 3 | 2 | 2 | 3 | 4 | 15 | 6 | 4 | 6 | 16 |
| その他の脊柱・胸部異常 | | 1 | 3 | 1 | 2 | 2 | 3 | 12 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| 視力 | 1.0未満0.3以上 | 292 | 323 | 369 | 363 | 384 | 374 | 2,105 | 335 | 357 | 303 | 995 |
| | 0.3未満 | 11 | 41 | 88 | 132 | 217 | 229 | 718 | 213 | 230 | 238 | 681 |
| 眼鏡CT着用者 | | 31 | 22 | 43 | 95 | 176 | 200 | 567 | 171 | 189 | 181 | 541 |
| 伝染性眼疾患 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の眼疾患・異常 | | 105 | 96 | 122 | 83 | 124 | 113 | 643 | 52 | 41 | 36 | 129 |

| 区 分 | 小学校 | | | | | | | 中学校 | | | | |
|----------------------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 | |
| 難 聴（両耳） | 12 | 10 | 10 | | 14 | | 46 | 7 | | 7 | 14 | |
| 耳 疾 患 | 251 | 219 | 169 | 165 | 150 | 129 | 1,083 | 106 | 66 | 52 | 224 | |
| 鼻・副鼻腔疾患 | 246 | 200 | 269 | 225 | 229 | 244 | 1,413 | 201 | 184 | 153 | 538 | |
| 口腔咽喉頭疾患 | 33 | 34 | 24 | 19 | 23 | 17 | 150 | 21 | 22 | 15 | 58 | |
| 伝染性皮膚疾患 | 4 | 3 | 3 | 3 | 4 | 5 | 22 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| アレルギー皮膚疾患 | 94 | 93 | 66 | 61 | 65 | 49 | 428 | 38 | 24 | 22 | 84 | |
| 心臓疾患・異常 | 30 | 14 | 16 | 9 | 10 | 9 | 88 | 18 | 12 | 12 | 42 | |
| 気管支ぜん息 | 114 | 96 | 106 | 84 | 86 | 67 | 553 | 51 | 63 | 57 | 171 | |
| 腎臓疾患 | 1 | 4 | 4 | 3 | 3 | 7 | 22 | 2 | 2 | 3 | 7 | |
| その他の疾患・異常 | 19 | 18 | 11 | 9 | 21 | 8 | 86 | 8 | 9 | 8 | 25 | |
| 歯 口 腔 の 検 査 | 受診者数 | 1,405 | 1,471 | 1,497 | 1,379 | 1,444 | 1,399 | 8,595 | 1,271 | 1,224 | 1,192 | 3,687 |
| | 処置完了者 | 295 | 377 | 503 | 447 | 445 | 421 | 2,488 | 379 | 360 | 359 | 1,098 |
| | 未処置者 | 381 | 414 | 418 | 422 | 370 | 352 | 2,357 | 257 | 283 | 315 | 855 |
| | 歯周疾患 | 0 | 2 | 0 | 3 | 5 | 7 | 17 | 5 | 2 | 3 | 10 |
| | 歯列・咬合・顎関節異常 | 15 | 21 | 40 | 24 | 31 | 37 | 168 | 19 | 27 | 19 | 65 |
| | その他の疾患・異常 | 14 | 17 | 38 | 36 | 25 | 21 | 151 | 11 | 9 | 15 | 35 |

（４） 災害共済給付

学校管理下における児童生徒の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）に対して、医療費や見舞金を給付するために、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済に加入し、市が掛金を全額負担しています。

①給付件数・金額推移

| 区分 | 小学校 | | 中学校 | |
|------|---------|-----------|---------|-----------|
| | 給付件数（件） | 給付金額（円） | 給付件数（件） | 給付金額（円） |
| 21年度 | 758 | 4,188,174 | 460 | 2,803,436 |
| 22年度 | 721 | 4,018,771 | 473 | 3,469,240 |
| 23年度 | 742 | 3,873,605 | 526 | 4,002,788 |

②傷病別事故件数推移

| 区 分 | 創傷 | 骨折 | ねんざ | 打撲 | 脱きゅう | その他 | 計 | |
|-----|------|----|-----|----|------|-----|----|-----|
| 小学校 | 21年度 | 67 | 84 | 82 | 167 | 10 | 38 | 448 |
| | 22年度 | 66 | 98 | 63 | 173 | 12 | 46 | 458 |
| | 23年度 | 71 | 91 | 80 | 172 | 25 | 23 | 462 |
| 中学校 | 21年度 | 9 | 69 | 41 | 73 | 8 | 20 | 220 |
| | 22年度 | 20 | 55 | 49 | 81 | 6 | 21 | 232 |
| | 23年度 | 37 | 79 | 53 | 86 | 2 | 16 | 273 |

5. 学校給食

学校給食は、学校給食法に基づき、児童・生徒の心身の健全な発達のために、栄養バランスのとれた食事を提供することにより健康増進を図り、食事についての正しい理解と望ましい食習慣を養うことなどを目的に実施しています。

また、新学習指導要領において、食育の推進が教育活動全体を通じて適切に行うよう位置付けられたことから、各学校では、生きた教材である給食の活用をはじめ、それぞれの特色を生かした指導計画に基づき指導を行っています。



食育授業の風景

(1) 小学校給食

小学校では、単独調理方式、共同調理場方式ともに、国の「学校給食摂取基準」や、立川市衛生管理基準などに基づき、栄養バランスと安全衛生に十分配慮して、下記のとおり全校で完全給食を実施しています。

| 方式 | 調理 | 対象学校数 | 給食実施回数 | 稼動回数(予定) | 給食対象者数 |
|---------|-------------|-------|--------|----------|--------|
| 単独調理方式 | 自校 | 8校 | 186回 | 186回 | 3,599人 |
| 共同調理場方式 | 第一学校給食共同調理場 | 7校 | 186回 | 192回 | 2,920人 |
| | 第二学校給食共同調理場 | 5校 | 186回 | 192回 | 2,958人 |

①実施方法

(ア) 単独調理方式

第一小学校から第八小学校までの8校で実施しており、各小学校所属の栄養士がそれぞれ工夫した献立を作成し、市調理員が調理をしています。

(イ) 共同調理場方式

下表の12校を対象に実施しており、調理場所所属の栄養士が月1回の献立作成会議で献立を作成し、市調理員が調理しています。各調理場の対象校をA・B2つの献立グループに分けて提供しています。

| 名称 | ブロック | 対象学校 |
|-------------|------|---------------|
| 第一学校給食共同調理場 | A | けやき台小、大山小、柏小 |
| | B | 十小、南砂小、若葉小、幸小 |
| 第二学校給食共同調理場 | A | 西砂小、上砂川小 |
| | B | 九小、松中小、新生小 |

②食材料

「立川市学校給食用材料調達事務要綱」に基づき、原則として国内産の安全で衛生的かつ良質な食材料を使用しています。野菜等は立川産を優先して使用しています。

(ア) 単独調理校

肉、野菜等の生鮮食品は、各学校の登録業者の中から選定して発注しており、その他の乾物、調味料については学期ごとに共同調理場と協同して、見積もり合わせにより納入業者を選定し、発注しています。

(イ) 共同調理場

食材の種類によって、年間、学期、月ごとに、登録業者の見積もり合わせにより納入業者を選定しています。生鮮食品等については見本を提出させ、品質を確認した上で納入業者を選定しており、より安全な食材調達に努めています。

③給食指導

新学習指導要領に基づき

1. 基本的生活習慣の育成 2. 豊かな人間性の育成 3. 健康の保持・増進
を指導の重点として、「立川市学校給食指導の手引き」に基づき、各学校の給食主任と担当栄養士を中心に、それぞれの学校にふさわしい年間指導計画を作成して、給食指導を実施しています。
また、給食主任会を（全校3回、共同調理場校5回）行い、給食指導の充実を図っています。

④給食費（月額）

| 方 式 | 学 年 | 金 額 |
|-----------------------------|-------|--------|
| 小学校・単独調理方式 (第一小学校～第八小学校) | 1・2年生 | 3,900円 |
| | 3・4年生 | 4,150円 |
| | 5・6年生 | 4,400円 |
| 小学校・共同調理場方式 (上記以外12校) | 1・2年生 | 3,800円 |
| | 3・4年生 | 4,050円 |
| | 5・6年生 | 4,300円 |

(2) 中学校給食

中学校給食は、小学校と同様に、国の「学校給食摂取基準」や、立川市衛生管理基準などに基づき、栄養バランスと安全衛生に十分配慮して、下記のとおり実施しています。

平成9年に2校で試行実施を開始し、平成12年4月から本格実施、その後校数を段階的に増やして平成14年10月からは全9校で実施しています。

①実施方法

(ア) 弁当併用外注給食方式

家庭からの弁当か、民間調理業者が調理・盛り付けしたランチボックスによる給食のどちらかを選択できる方式で、食材料の選定・調達等は市の栄養士が行っています。

(イ) ミルク給食

学校長が、弁当併用外注給食の実施日に合わせて原則全員を対象として実施しています。

②献立

市の栄養士が、国の「学校給食摂取基準」に基づき献立を作成します。

③食材料

安全で衛生的な食材料を市の栄養士が調達し、委託の民間調理業者に納入しています。

④調理及び配送

(ア) 調理は、市の選定基準及び中学校給食調理等業務委託衛生管理基準の要件を充足する業者2社に委託しています。

(イ) 委託業者は市の調達した食材を使用して調理し、市の用意したランチボックスへ盛付け、クラス別に配送ケースに入れ、各学校の配膳室に配送しています。また、食器回収、洗浄、消毒、保管、残菜処理も委託業者が行っています。

(ウ) 委託業者の衛生管理に関しては、中学校給食調理等業務委託衛生管理基準を遵守させるとともに、立川市学校薬剤師会に委託し、年間3回学校給食調理場環境衛生検査を実施しています。

⑤給食費（一食）

※ミルク代45.45円は別徴収。

| | 金額 |
|-----|------|
| 中学校 | 287円 |

⑥利用方法

利用する生徒は、献立表や予約機で献立を確認した後、プリペイドカードを使用して、希望する日の給食を予約します。

⑦給食実施回数（平成23年度実績）

※（ ）内はミルク給食実施回数

| 学校名 | 回数 | 学校名 | 回数 |
|---------|-----------|---------|---------------|
| 立川第一中学校 | 171 (171) | 立川第六中学校 | 187 (171) |
| 立川第二中学校 | 191 (190) | 立川第七中学校 | 180 (180) |
| 立川第三中学校 | 176 (179) | 立川第八中学校 | 174 (174) |
| 立川第四中学校 | 180 (179) | 立川第九中学校 | 178 (178) |
| 立川第五中学校 | 186 (180) | 計 | 1,623 (1,602) |
| | | 平均実施回数 | 180 (178) |

(3) 衛生管理

「立川市学校給食衛生管理基準」(平成22年5月改訂)に基づき、次のとおり安全・衛生の確保に努めています。

①施設・設備

施設・設備・配膳室においては作業動線を考慮した配置をし、常に補修、整理整頓、清掃、消毒を行い、衛生器具を適切に備え、また、日常点検、定期点検等を行うなど衛生管理の徹底に努めています。

②従事者

毎月2回の腸内細菌検査や年3回の定期健康診断等により健康状態に常に注意しているほか、服装や手指についても、常に清潔にするように心がけています。

また、東京都等の団体が開催する各種研修への参加や、保健所の協力を得て衛生講習会を開催するなど、衛生管理に関する専門性の向上に努めています。

③食材料

食材料の納入にあたっては、検収責任者立会いのもと、品質、品温、鮮度、賞味期限、規格、数量、異物混入等について確認して記録しています。

納入された食材料は、衛生管理のため一部を2週間冷凍保管しています。

また、納入業者にも従業員の腸内細菌検査の結果や、微生物及び理化学検査の結果を提出させるなど衛生管理の徹底を促しています。

④調理・献立

野菜・果物等は下処理室で3回以上洗浄し、異物混入等を確認しています。

調理は、中心温度が75℃、1分間以上の加熱を原則として、献立ごとの作業手順にしたがって、調理器具等の消毒や取り扱い・使い分けに留意しながら必ず当日に行い、適切な温度管理を行い、調理後2時間以内に喫食できるようにしています。調理後の食品については、共同調理場及び各学校で検食を行うとともに、衛生管理のため一部を2週間冷凍保管しています。

衛生管理上、なま物やあえものについては提供を中止しています。また、食物アレルギーのある児童に対しては、可能な限り個々の児童の状況に応じた対応に努めることとしています。児童が初めて食べることにより、アレルギー症状が起きやすい食品とされるナッツ類は使用を中止しています。

残菜・廃品処理についても、分別を徹底し、汚臭・汚液が漏れないように適宜集積場に搬出し、搬出後は清掃を行っています。なお、給食の残菜等については、市が実施している「せん定枝資源化事業」に協力して堆肥化を図ることで、環境にも配慮しています。

⑤その他

配膳・配送・回収についても、適切な温度管理や清掃、洗浄、殺菌など衛生管理の徹底を図っています。

児童・生徒に対しては、手洗いの励行や、小学校給食の配膳時は給食当番に白衣・マスク・帽子着用を指導しています。

そのほか、衛生管理体制の整備や、薬剤師等による各種の衛生検査を実施しています。

(4) 主要事業

①食教育支援指導事業

近年、ライフスタイルの多様化などにより、子どもたちの食生活は大きく変化し、偏食や肥満による生活習慣病の増加などが指摘されています。

成長期にある児童・生徒に望ましい食習慣と自己管理能力を身につけさせるため、食の専門家である栄養士が給食時間や食に関連する各教科等の時間に学級担任等と連携して、生きた教材である学校給食を活用した授業をチームティーチング方式で実施しています。平成23年度は、全小学校20校で実施し、また、立川の農業者との協働による授業も、10校において実施しました。中学校については2校で実施し、その他ポスター貼付等啓発活動を行いました。

今後はさらに支援指導実施回数を増やし充実していく予定です。

②新学校給食共同調理場整備運営事業

現在の第一及び第二学校給食共同調理場の老朽化対策と運営の効率化のため、調理場を一箇所に統合して整備し、運営していく事業です。事業期間は平成23年度～39年度で、民間事業者のノウハウを活用するPFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）手法により実施します。

施設の設計、建設、維持管理、運営につき、一体的に民間事業者と契約し、民間の創意工夫を十分に発揮してもらうことで、15%程度の財政負担の縮減を図りながら、より安全な給食の提供を目指してまいります。

現在、施設の建設工事をすすめつつ、民間事業者体制への円滑な移行のため、運営等に関する協議を随時実施しています。平成25年1月末には工事完了予定で、その後、調理リハーサルなど開業準備業務を経て、平成25年4月の運営開始へと進んでまいります。

(5) 放射性物質の検査と産地公表

平成24年4月から、国際規格も踏まえ、長期的な観点からの新しい基準値が設定されたことにより、市場に流通している食材は今まで以上に安全と認識しておりますが、学校の給食食材については、保護者の不安を払拭するため、平成23年8月から実施している放射性物質検査を、平成24年度も引き続き実施しています。給食で使用した、又は今後使用予定の野菜、食肉、卵、魚、牛乳等を対象として、使用頻度、使用量の多いもので、原則として関東以北を産地とする食材について、1回10品を選び、検査を実施しています。結果はホームページで公表しております。

また、給食で使用した主な食材の産地について、月に1回、献立表で産地を公表しています。

<参考資料>

1 平均供給栄養量（児童・生徒1人1回当り）

※平成24年5月分

| 区分 | | 栄養素 | エネルギー (kcal) | たんぱく質 (g) | 脂質 (%) | 食塩相当量 (g) | カルシウム (mg) | 鉄 (mg) |
|-----|----------|-----|-----------------|--------------|------------------|--------------|---------------|-----------|
| 小学校 | 国標準（中学年） | | 660 | 範囲 13～28 | エネルギー の25～30% | 2.5未満 | 350 | 3.0 |
| | 市平均（中学年） | | 661 | 25.6 | 23.2 | 2.8 | 356 | 2.3 |
| 中学校 | 国標準 | | 850 | 範囲 19～35 | エネルギー の25～30% | 3未満 | 420 | 4.0 |
| | 市平均 | | 859 | 32.2 | 25.1 | 3.3 | 399 | 3.5 |

| 区分 | | 栄養素 | ビタミン | | | | 食物繊維 (g) | マグネシウム (mg) | 亜鉛 (mg) |
|-----|----------|-----|---------------|---------|---------|--------|-------------|----------------|------------|
| | | | A (ngRE) | B1 (mg) | B2 (mg) | C (mg) | | | |
| 小学校 | 国標準（中学年） | | 範囲 140～420 | 0.40 | 0.50 | 23 | 6.0 | 80 | 2.0 |
| | 市平均（中学年） | | 319 | 0.37 | 0.55 | 32 | 4.5 | 93 | 3.0 |
| 中学校 | 国標準 | | 範囲 210～630 | 0.60 | 0.60 | 33 | 7.5 | 140 | 3.0 |
| | 市平均 | | 320 | 0.51 | 0.65 | 51 | 6.5 | 122 | 4.1 |

2 食品分類別平均供給量（児童・生徒1人1回当り）

（平成24年5月分）（単位 g）

| 区分 | | 小学校 | | 中学校 | |
|------------------|-------------|----------|----------|------|-----|
| | | 国基準(中学年) | 市平均(中学年) | 国基準 | 市平均 |
| 米 | | 48 | 44 | 66 | 79 |
| パン | 小麦 | 23 | 12 | 30 | 10 |
| | イースト | 0.57 | 0.38 | 0.75 | 0.1 |
| | 食塩 | 0.46 | 0.20 | 0.6 | 0.1 |
| | 油脂類・ショートニング | 0.8 | 1.0 | 1.1 | 0.2 |
| | 砂糖類 | 0.8 | 1.0 | 1.1 | 0.3 |
| | 脱脂粉乳 | 0.8 | 0.4 | 1.1 | 0.1 |
| 牛乳 | | 206 | 209 | 206 | 210 |
| 小麦粉及びその製品(小麦粉重量) | | 5 | 14 | 9 | 9 |
| 芋及び澱粉 | | 38 | 31 | 44 | 42 |
| 砂糖類 | | 3 | 2 | 4 | 5 |
| 豆類(戻し) | | 6 | 3 | 6 | 6 |
| 豆製品 | | 20 | 14 | 22 | 20 |
| 種実類 | | 3.5 | 0.6 | 3.5 | 2.6 |
| 緑黄色野菜 | | 23 | 29 | 35 | 44 |
| その他の野菜 | | 70 | 68 | 82 | 93 |
| 果物類 | | 32 | 21 | 40 | 36 |
| きのこ類(戻し) | | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 藻類(戻し) | | 2 | 2 | 4 | 3 |
| 魚介類 | | 16 | 15 | 21 | 20 |
| 小魚類 | | 3 | 2 | 4 | 4 |
| 肉類 | | 15 | 23 | 19 | 27 |
| 卵類 | | 6 | 7 | 14 | 11 |
| 乳類 | | 4 | 5 | 6 | 2 |
| 油脂類 | | 3 | 4 | 4 | 4 |

※中学校の栄養量等は、弁当併用外注給食方式による給食（ミルクを含む）の数値

6. 学校施設

(1) 教育環境の整備

校舎の建築については、昭和20年代半ばまで木造校舎が主流でしたが、それ以後、不燃化と児童・生徒の急増に対応するため、鉄筋コンクリート校舎建築の動きが全国各地で見られるようになりました。立川市においても、昭和33年に第一小学校が鉄筋コンクリート化され、続いて昭和35年には、第一中学校、第二中学校、第三中学校が相次いで鉄筋コンクリート校舎に改築されるなど、鉄筋コンクリート化時代へと移行していきました。また、昭和30年代後半から昭和40年代後半にかけては、児童・生徒が急増し、立川市においても、各地域に新しい学校が相次いで建築されました。現在ある市内の小中学校のほとんどは、この時期に改築あるいは新築されたものであり、現在ではかなりの老朽化が進んでいる状況です。このため、立川市教育委員会では、将来的に校舎の改築を検討しているほか、校舎や体育館、プールなどの大規模改造、便所等の改修などについて年次計画の立案を進めるほか、児童・生徒数の減少に伴って発生してきた余裕教室についても有効活用を図るため、順次整備しているところです。南富士見小学校と多摩川小学校を廃止し、平成16年4月1日に旧多摩川小学校の施設を仮使用して新生小学校を開校し、旧南富士見小学校の施設を改修したのち新生小学校として平成17年4月1日から開校しました。

①校舎改築

文部科学省の不適合改築の補助制度の中に「建築後おおむね10年以上経過した非木造建物で、教育機能上改築することがやむを得ないもの」という基準があります。立川市では、昭和30年代後半から昭和40年代後半にかけて改築あるいは新築された校舎がほとんどであるため、今後、改築工事の計画を行う必要性があります。

②校舎大規模改造

各学校の校舎は老朽化が進み、防音機能の低下などにより、学校運営に支障を来している状況です。このため、防音機能の復旧と校舎の各所改修を主として校舎大規模改造を、市の保全計画に位置付け、年次的に進めていく予定です。

③体育館大規模改造

過去、25年経過で改築ということで計画化され、昭和53年度から順次改築を進めてきましたが、平成8年度から平成12年度までは改築後20年以上を経過した体育館を、躯体以外は全面的に改修する大規模改造へと事業変更し、機能の向上を図りました。その後、耐震補強工事を優先してきましたが、今後は、市の保全計画に位置づけ、年次的に進めていく予定です。

④校舎・体育館耐震補強

阪神・淡路大震災を教訓として、災害時における児童・生徒の安全確保を図るとともに、地域住民の応急避難場所としての機能も果たすため、平成7年度から校舎と体育館の耐震診断を順次実施し、昭和56年の新耐震設計法施行以前に建築された校舎について、必要に応じて補強工事等を行ってきました。

平成15年度に小中学校施設の耐震化推進計画策定支援事業として文部科学省の補助金により耐震補強工事の優先順位をつけた耐震推進改修計画の策定を行いました。それに基づき順次、耐震補強工事を実施し、第一小学校を除き耐震補強工事が完了しました。

⑤プール大規模改造

設置後30年前後を経過したプールについて、プール底面の表面塗装およびプールサイドの改修、循環ろ過装置の改修を行っています。また、温水シャワーを設置する工事を先行して実施してきました。今後は、市の保全計画に位置づけ、年次的に進めていく予定です。

⑥便所改修

排水系統の老朽化や衛生管理上の問題から、トイレ内部の全面的な改修を進めています。改修については、使用上支障がないように1校につき2～3年かけて行っており、現在19校が改修済みです。校舎の大規模改造を行う学校については、その工事の中で行っており、改修が済んでいない学校についても、順次行う予定です。平成22年度には、各小学校の一年生が使用するトイレについて、1個を除き便器を和式から洋式に改修しました。

⑦余裕教室の活用

児童・生徒数の急激な減少が進んだことから、立川市においても多数の余裕教室が発生しています。その活用については、平成5年度に余裕教室対策検討委員会がまとめた報告を踏まえて、余裕教室を特別教室や会議室、多目的室、教材室などに転用し有効活用を図るとともに、生涯学習時代を迎え、学校が社会教育施設としても役割を果たしていく必要があることから、積極的に地域開放を図っていくこととし、現在、第二小学校、幸小学校、新生小学校の3校の余裕教室の一部を会議室や和室、多目的室として整備し、地域開放しています。なお、今後については、国の「21世紀教育新生プラン」などにより少人数指導のための教室需要が増加することが予測されていますので、そのための有効活用も図っていく必要があります。

⑧水飲栓直結化

給水管の老朽化に伴う赤水化や残留塩素濃度の低下の対策として、小中学校を対象に、学校フレッシュ水道を実施して、給水管の改修工事を平成22年までに第一小学校を除く小学校19校について実施し、平成23年度に中学校4校を実施しました。平成24年度は、中学校5校の改修工事を実施し、第一小学校を除く全ての小中学校で給水管の改修工事が完了します。

⑨小学校校庭の芝生化

ヒートアイランド対策及び緑化対策に寄与するとともに、環境学習や地域コミュニティの形成など、快適で安全・安心な教育環境を整備するため、平成20年度に新生小学校の校庭を芝生化しました。芝生出前講座として平成21年度に第四小学校、平成22年度に第七小学校の校庭の一部を芝生化しました。平成22年度には、校庭芝生に関する諸効果研究事業として西砂小学校、若葉小学校の校庭の一部を芝生化し、研究事業を行いました。平成24年度には、東京都の小学校運動場芝生化事業の補助金を利用して、第三小学校、第四小学校の校庭の一部を芝生化します。

⑩第一小学校建替え事業

立川市では市内小中学校の耐震化を順次進めて来ましたが、最終となる第一小学校は建替えを進めています。仮設校舎の建設、既存校舎からの引越しを夏休み中に終え、平成24年9月から仮設校舎での授業となります。既存校舎の解体工事は平成24年12月までに終わる予定です。新しい建物は、学校を中心とした複合化施設となりますが、設計作業を平成24年9月中に終え、平成25年1月に着工、平成26年度中の新規開校・開設を目標として、地域の核となる施設の建設を目指します。

⑪小中学校普通教室空調機設置工事

夏の暑さ対策として、小学校17校、中学校8校の普通教室に空調機を設置しました。

(2) 学校施設の現況

①小学校

| 学校名 | 敷地面積 | 校舎面積 | 体育館面積 | 教室数 | | プール規模 | |
|---------|----------|----------|---------|-----|-----|-----------|----------|
| | | | | 普通 | 特別 | 大プール | 小プール |
| 第一小学校* | 12,602㎡ | 4,791㎡ | 696㎡ | 14 | 13 | 25m×10m | |
| 第二小学校 | 13,231 | 6,072 | 852 | 14 | 19 | 25×11.5m | 28.66㎡ |
| 第三小学校 | 11,808 | 5,419 | 871 | 17 | 10 | 25m×10m | 12m×4.5m |
| 第四小学校 | 15,141 | 5,586 | 883 | 16 | 13 | 25m×12m | 10m×4.5m |
| 第五小学校 | 15,624 | 5,786 | 868 | 21 | 12 | | 7m×4m |
| 第六小学校 | 11,137 | 5,225 | 868 | 12 | 13 | 25m×10m | 10m×4.5m |
| 第七小学校 | 15,179 | 3,899 | 921 | 7 | 11 | 25m×11.5m | 6m×4m |
| 第八小学校 | 19,724 | 7,202 | 1,041 | 18 | 17 | 25m×10m | 163.23㎡ |
| 第九小学校 | 12,370 | 5,602 | 725 | 20 | 13 | | 10m×5m |
| 第十小学校 | 15,716 | 4,531 | 767 | 14 | 10 | | 33.28㎡ |
| けやき台小学校 | 15,977 | 7,233 | 713 | 17 | 16 | | 6m×4m |
| 西砂小学校 | 14,978 | 5,373 | 710 | 17 | 9 | | 10m×4.5m |
| 南砂小学校 | 9,626 | 4,657 | 749 | 12 | 10 | | |
| 若葉小学校 | 16,441 | 5,905 | 737 | 7 | 19 | | |
| 幸小学校 | 16,165 | 5,900 | 768 | 12 | 16 | | |
| 松中小学校 | 16,144 | 6,108 | 735 | 13 | 16 | | |
| 大山小学校 | 16,375 | 5,410 | 756 | 9 | 17 | | |
| 柏小学校 | 16,728 | 6,301 | 882 | 19 | 13 | 7m×4m | |
| 上砂川小学校 | 12,419 | 5,434 | 852 | 20 | 11 | 25m×12m | 10m×4.5m |
| 新生小学校 | 15,516 | 6,341 | 710 | 19 | 11 | 25m×10m | 6m×4m |
| 計 | 292,901㎡ | 112,775㎡ | 16,104㎡ | 298 | 269 | | |

*表中の校舎、体育館面積は既存校舎の数値

②中学校

| 学校名 | 敷地面積 | 校舎面積 | 体育館面積 | 教室数 | | プール規模 | |
|---------|----------|---------|---------|-----|-----|---------|------|
| | | | | 普通 | 特別 | 大プール | 小プール |
| 立川第一中学校 | 16,732㎡ | 6,697㎡ | 1,428㎡ | 14 | 22 | 25m×13m | |
| 立川第二中学校 | 25,234 | 7,395 | 1,765 | 16 | 22 | | |
| 立川第三中学校 | 17,975 | 7,266 | 1,713 | 13 | 23 | | |
| 立川第四中学校 | 17,213 | 7,084 | 1,541 | 14 | 17 | | |
| 立川第五中学校 | 19,007 | 7,552 | 1,597 | 22 | 19 | | |
| 立川第六中学校 | 21,260 | 7,476 | 975 | 12 | 21 | | |
| 立川第七中学校 | 21,746 | 7,342 | 1,393 | 13 | 22 | | |
| 立川第八中学校 | 18,097 | 6,751 | 1,392 | 7 | 19 | | |
| 立川第九中学校 | 18,391 | 7,210 | 1,397 | 9 | 20 | | |
| 計 | 175,655㎡ | 64,773㎡ | 13,201㎡ | 120 | 185 | | |

7. 小・中学校

(1) 小・中学校一覧

①小学校

平成24年4月1日

| 学校名 | 所在地 | 電話番号 | 校長名 | 副校長名 | 創立年月日 | 開校記念日 |
|---------|------------|----------|-------|--------|------------|--------|
| 第一小学校 | 柴崎町2-20-3 | 523-4428 | 操木 豊 | 篠原 養一 | 明3年3月3日 | 3月3日 |
| 第二小学校 | 曙町3-23-1 | 523-4438 | 高藤 一伸 | 堀田 益男 | 昭4年9月2日 | 9月6日 |
| 第三小学校 | 錦町3-4-1 | 523-4448 | 井上 和芳 | 佐藤 邦彦 | 昭12年1月8日 | 3月11日 |
| 第四小学校 | 富士見町4-4-1 | 523-5228 | 月岡 正明 | 森村 聡彦 | 昭15年11月25日 | 11月27日 |
| 第五小学校 | 高松町1-12-25 | 523-5238 | 對馬 洋 | 坂倉 理恵 | 昭15年11月27日 | 11月27日 |
| 第六小学校 | 羽衣町2-29-22 | 523-5248 | 高野 明彦 | 押本 明文 | 昭25年2月1日 | 4月15日 |
| 第七小学校 | 錦町5-6-43 | 523-5348 | 記野 邦彦 | 松久保 雅和 | 昭33年4月1日 | 4月25日 |
| 第八小学校 | 幸町2-1-1 | 536-0031 | 飯田 芳男 | 高田 幸男 | 明33年7月27日 | 2月15日 |
| 第九小学校 | 上砂町2-18-1 | 536-2231 | 兒嶋 重明 | 石田 孝士 | 明5年5月 日 | 11月27日 |
| 第十小学校 | 柏町1-31-1 | 536-2711 | 泉 直樹 | 森 清隆 | 昭40年4月1日 | 10月2日 |
| けやき台小学校 | 若葉町1-13-1 | 536-1875 | 小林 正隆 | 三木 秀子 | 昭41年9月1日 | 10月3日 |
| 西砂小学校 | 西砂町2-34-2 | 531-2082 | 武田 好史 | 中村 義彦 | 昭42年4月1日 | 6月17日 |
| 南砂小学校 | 栄町2-2-1 | 525-1474 | 山崎 俊英 | 大河原 博 | 昭45年4月1日 | 6月1日 |
| 若葉小学校 | 若葉町4-24-1 | 536-3971 | 井土 満 | 宮城 恵子 | 昭46年4月1日 | 10月27日 |
| 幸小学校 | 幸町5-68-1 | 536-3961 | 上村 一美 | 小崎 仁 | 昭46年4月1日 | 10月27日 |
| 松中小学校 | 一番町5-8-5 | 531-3821 | 武田 伸一 | 宮當 拓也 | 昭46年4月1日 | 10月27日 |
| 大山小学校 | 上砂町1-5-33 | 535-2850 | 駒井 隆治 | 田中 光晴 | 昭47年4月1日 | 10月20日 |
| 柏小学校 | 柏町4-8-4 | 537-1962 | 難波 芳男 | 町田 浩一 | 昭52年2月1日 | 2月1日 |
| 上砂川小学校 | 上砂町5-12-2 | 537-1801 | 山中 栄治 | 野口 知義 | 昭58年4月1日 | 5月1日 |
| 新生小学校 | 富士見町6-69-1 | 524-3148 | 池田 泰章 | 城戸 光昭 | 平16年4月1日 | 2月25日 |

②中学校

| 学校名 | 所在地 | 電話番号 | 校長名 | 副校長名 | 創立年月日 | 開校記念日 |
|---------|------------|----------|-------|-------|-----------|-------|
| 立川第一中学校 | 柴崎町1-3-4 | 523-4328 | 國島 健二 | 大神田佳明 | 昭22年4月1日 | 5月1日 |
| 立川第二中学校 | 曙町3-29-46 | 523-4338 | 常盤 隆 | 大堀 浩 | 昭22年4月1日 | 5月4日 |
| 立川第三中学校 | 羽衣町3-25-6 | 523-4348 | 小沼 孝行 | 坂詰 悦子 | 昭26年4月10日 | 4月10日 |
| 立川第四中学校 | 幸町5-49-1 | 536-2411 | 上原 直樹 | 秋野 宏之 | 昭22年4月1日 | 5月26日 |
| 立川第五中学校 | 上砂町3-27-1 | 536-2511 | 山口 俊浩 | 田中 博 | 昭39年4月1日 | 6月9日 |
| 立川第六中学校 | 泉町786-16 | 537-3195 | 関口 直則 | 竹口 君夫 | 昭49年2月1日 | 6月17日 |
| 立川第七中学校 | 西砂町6-28-3 | 531-0511 | 渡辺 徹 | 森田 英之 | 昭53年4月1日 | 5月4日 |
| 立川第八中学校 | 富士見町7-24-1 | 526-2007 | 須藤 和博 | 横山 勝行 | 昭53年4月1日 | 5月2日 |
| 立川第九中学校 | 若葉町3-19-5 | 535-1415 | 瀧島 潔 | 間中 和男 | 昭54年4月1日 | 11月2日 |

(2) 児童・生徒数および学級数

①小学校

(平成24年5月1日現在)

| 学校名 | 児童数 | | | | | | | 学級数 | | | | | | |
|---------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----|----|----|----|----|----|-------------|
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
| 第一小学校 | 65 (1) | 58 (3) | 68 (1) | 73 (3) | 66 (4) | 57 (2) | 387 (14) | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 12 (2) |
| 第二小学校 | 73 | 64 | 88 | 55 | 44 | 63 | 387 | 3 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 14 (5) |
| 第三小学校 | 103 | 74 | 82 | 102 | 92 | 80 | 533 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 17 |
| 第四小学校 | 77 | 73 | 73 | 100 | 71 | 96 | 490 | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 | 16 |
| 第五小学校 | 84 (5) | 86 (1) | 98 (3) | 86 (3) | 90 (2) | 82 (4) | 526 (18) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 18 (3) |
| 第六小学校 | 40 | 43 | 43 | 56 | 49 | 50 | 281 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 12 |
| 第七小学校 | 28 | 37 | 19 | 36 | 31 | 39 | 190 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 (5) |
| 第八小学校 | 64 | 74 | 72 | 76 | 68 | 87 | 441 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 3 | 14 |
| 第九小学校 | 90 (2) | 94 (1) | 78 (5) | 95 (5) | 84 (6) | 79 (4) | 520 (23) | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 2 | 16 (3) |
| 第十小学校 | 53 (1) | 64 | 56 (2) | 73 (3) | 55 (1) | 65 (5) | 366 (12) | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 12 (2) |
| けやき台小学校 | 84 | 96 | 98 | 78 | 96 | 83 | 535 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 17 (4) |
| 西砂小学校 | 93 | 96 | 119 | 95 | 80 | 85 | 568 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 17 |
| 南砂小学校 | 49 | 60 | 67 | 45 | 53 | 57 | 331 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 12 |
| 若葉小学校 | 31 (2) | 28 | 30 | 26 (2) | 22 (2) | 39 | 176 (6) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 (1) |
| 幸小学校 | 65 | 70 | 68 | 70 | 70 | 63 | 406 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 12 |
| 松中小学校 | 56 | 72 | 60 | 64 | 79 | 67 | 398 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 13 (5) |
| 大山小学校 | 28 | 30 | 37 | 50 | 46 | 54 | 245 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 9 |
| 柏小学校 | 107 | 101 | 99 | 99 | 82 | 102 | 590 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 19 |
| 上砂川小学校 | 113 | 114 | 119 | 113 | 111 | 104 | 674 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 20 |
| 新生小学校 | 77 (1) | 85 | 84 | 98 (1) | 98 (1) | 91 (2) | 533 (5) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 18 (1) |
| 計 | 1,380 (12) | 1,419 (5) | 1,458 (11) | 1,490 (17) | 1,387 (16) | 1,443 (17) | 8,577 (78) | 49 | 50 | 45 | 46 | 45 | 46 | 281 (31) |

() 内：児童数は特別支援学級固定級の児童数、学級数は固定級及び通級指導学級数でいずれも外数

②中学校

(平成24年5月1日現在)

| 学校名 | 生徒数 | | | | 学級数 | | | |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----|----|----|-------------|
| | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 |
| 立川第一中学校 | 117 (5) | 126 (4) | 132 (4) | 375 (13) | 4 | 4 | 4 | 12 (2) |
| 立川第二中学校 | 160 (1) | 151 (4) | 174 (7) | 485 (12) | 5 | 4 | 5 | 14 (2) |
| 立川第三中学校 | 176 | 148 | 149 | 473 | 5 | 4 | 4 | 13 (1) |
| 立川第四中学校 | 155 | 172 | 156 | 483 | 5 | 5 | 4 | 14 |
| 立川第五中学校 | 227 (4) | 256 (7) | 224 (10) | 707 (21) | 7 | 7 | 6 | 20 (3) |
| 立川第六中学校 | 107 | 106 | 94 | 307 | 3 | 3 | 3 | 9 (2) |
| 立川第七中学校 | 142 | 159 | 146 | 447 | 4 | 4 | 4 | 12 |
| 立川第八中学校 | 84 | 67 | 75 | 226 | 3 | 2 | 2 | 7 (1) |
| 立川第九中学校 | 85 | 90 | 93 | 268 | 3 | 3 | 3 | 9 |
| 計 | 1,253 (10) | 1,275 (15) | 1,243 (21) | 3,771 (46) | 39 | 36 | 35 | 110 (11) |

() 内：生徒数は特別支援学級固定級の生徒数、学級数は固定級及び通級指導学級数でいずれも外数

(3) 児童・生徒数の推移

①小学校

(各年5月1日現在)

| 年次 | 校数 | 学級数 | 児童数 | | |
|------|----|-----|--------|-------|-------|
| | | | 総数 | 男 | 女 |
| 昭和45 | 14 | 263 | 9,504 | — | — |
| 50 | 18 | 356 | 13,223 | 6,882 | 6,341 |
| 55 | 20 | 410 | 15,304 | 7,962 | 7,342 |
| 60 | 21 | 363 | 12,711 | 6,513 | 6,198 |
| 平成 2 | 21 | 312 | 10,061 | 5,187 | 4,874 |
| 10 | 21 | 281 | 8,363 | 4,285 | 4,078 |
| 11 | 21 | 279 | 8,324 | 4,279 | 4,045 |
| 12 | 21 | 278 | 8,329 | 4,299 | 4,030 |
| 13 | 21 | 275 | 8,377 | 4,288 | 4,089 |
| 14 | 21 | 279 | 8,398 | 4,276 | 4,122 |
| 15 | 21 | 280 | 8,493 | 4,322 | 4,171 |
| 16 | 20 | 289 | 8,678 | 4,373 | 4,305 |
| 17 | 20 | 295 | 8,784 | 4,462 | 4,322 |
| 18 | 20 | 294 | 8,769 | 4,425 | 4,344 |
| 19 | 20 | 300 | 8,863 | 4,497 | 4,366 |
| 20 | 20 | 299 | 8,834 | 4,506 | 4,328 |
| 21 | 20 | 306 | 8,840 | 4,528 | 4,312 |
| 22 | 20 | 305 | 8,834 | 4,572 | 4,262 |
| 23 | 20 | 310 | 8,734 | 4,496 | 4,238 |
| 24 | 20 | 312 | 8,655 | 4,441 | 4,214 |

②中学校

(各年5月1日現在)

| 年次 | 校数 | 学級数 | 生徒数 | | |
|------|----|-----|-------|-------|-------|
| | | | 総数 | 男 | 女 |
| 昭和45 | 5 | 94 | 3,761 | — | — |
| 50 | 6 | 113 | 4,651 | 2,408 | 2,243 |
| 55 | 9 | 155 | 6,118 | 3,195 | 2,923 |
| 60 | 9 | 175 | 7,077 | 3,747 | 3,330 |
| 平成 2 | 9 | 155 | 5,731 | 2,976 | 2,755 |
| 10 | 9 | 122 | 4,114 | 2,108 | 2,006 |
| 11 | 9 | 119 | 3,968 | 2,024 | 1,944 |
| 12 | 9 | 116 | 3,880 | 1,973 | 1,907 |
| 13 | 9 | 117 | 3,827 | 1,938 | 1,889 |
| 14 | 9 | 116 | 3,774 | 1,909 | 1,865 |
| 15 | 9 | 113 | 3,695 | 1,894 | 1,801 |
| 16 | 9 | 114 | 3,690 | 1,912 | 1,778 |
| 17 | 9 | 111 | 3,706 | 1,895 | 1,811 |
| 18 | 9 | 115 | 3,743 | 1,917 | 1,826 |
| 19 | 9 | 115 | 3,776 | 1,891 | 1,885 |
| 20 | 9 | 118 | 3,782 | 1,917 | 1,865 |
| 21 | 9 | 114 | 3,786 | 1,893 | 1,893 |
| 22 | 9 | 117 | 3,756 | 1,888 | 1,868 |
| 23 | 9 | 117 | 3,791 | 1,917 | 1,874 |
| 24 | 9 | 121 | 3,817 | 1,960 | 1,857 |

児童・生徒数は特別支援学級固定級を含む。学級数は固定級及び通級指導学級を含む。

(4) 学校職員数

(平成24年5月1日現在)

| 区分 校名 | 都費職員 | | | | | | | | | | 市費職員 | | | | | | | | | | 合計 *1 | | |
|----------|------|-----|--------|----------|------|--------|------|-------|---------|------|------|-------|----|------|----|------|--------|------------|---------|----|----------|-----|-----|
| | 校長 | 副校長 | 通常学級教諭 | 特別支援学級教諭 | 養護教諭 | 充当指導主事 | 事務職員 | 嘱託職員等 | 計 *1 | 事務嘱託 | 栄養士 | 栄養士嘱託 | 調理 | 調理嘱託 | 用務 | 用務嘱託 | 給食配膳嘱託 | 特別支援学級指導嘱託 | 計 *1 | | | | |
| 第一小学校 | 1 | 1 | 15 | 3 | 1 | | 1 | 3 | 22 | 3 | 1 | 1 | | 4 | 1 | | | 6 | 1 | 28 | 4 | | |
| 第二小学校 | 1 | 1 | 17 | 6 | 1 | | 1 | 1 | 27 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 1 | 1 | | 5 | 2 | 32 | 3 | | |
| 第三小学校 | 1 | 1 | 20 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 26 | 1 | 1 | 1 | | 4 | 1 | 2 | | 5 | 4 | 31 | 5 | | |
| 第四小学校 | 1 | 1 | 19 | | 1 | | 1 | 2 | 23 | 2 | 1 | 1 | 1 | 5 | 1 | 1 | | 7 | 3 | 30 | 5 | | |
| 第五小学校 | 1 | 1 | 22 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 31 | 1 | 1 | 1 | | 4 | 1 | 2 | 1 | 5 | 5 | 36 | 6 | | |
| 第六小学校 | 1 | 1 | 15 | | 1 | | 1 | 1 | 19 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 1 | 1 | | 5 | 2 | 24 | 3 | | |
| 第七小学校 | 1 | 1 | 10 | 7 | 1 | | 1 | | 21 | 0 | 1 | 1 | | 3 | | 2 | | 4 | 3 | 25 | 3 | | |
| 第八小学校 | 1 | 1 | 17 | | 1 | | 1 | | 21 | 0 | 1 | 1 | | 4 | 1 | 1 | | 6 | 2 | 27 | 2 | | |
| 第九小学校 | 1 | 1 | 18 | 4 | 1 | | 1 | 2 | 26 | 2 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 | 27 | 7 | |
| 第十小学校 | 1 | 1 | 15 | 3 | 1 | | 1 | | 22 | 0 | 1 | | | | | 2 | 1 | | 0 | 4 | 22 | 4 | |
| けやき台小学校 | 1 | 1 | 21 | 6 | 1 | | 1 | 1 | 31 | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 3 | 32 | 4 | |
| 西砂小学校 | 1 | 1 | 21 | | 1 | | 1 | 3 | 25 | 3 | 1 | | | | 1 | | 1 | | 1 | 2 | 26 | 5 | |
| 南砂小学校 | 1 | 1 | 15 | | 1 | | 1 | 1 | 19 | 1 | 1 | | | | | 2 | 1 | | 0 | 4 | 19 | 5 | |
| 若葉小学校 | 1 | 1 | 9 | 2 | 1 | | 1 | 1 | 15 | 1 | 1 | | | | 1 | | 1 | | 1 | 2 | 16 | 3 | |
| 幸小学校 | 1 | 1 | 15 | | 1 | | 1 | | 19 | 0 | 1 | | | | 1 | | 1 | | 1 | 2 | 20 | 2 | |
| 松中小学校 | 1 | 1 | 16 | 6 | 1 | | 1 | 1 | 26 | 1 | 1 | | | | 1 | | 1 | | 1 | 2 | 27 | 3 | |
| 大山小学校 | 1 | 1 | 12 | | 1 | | 1 | | 16 | 0 | 1 | | | | | 2 | | | 0 | 3 | 16 | 3 | |
| 柏小学校 | 1 | 1 | 23 | | 1 | | 1 | | 27 | 0 | 1 | | | | 1 | | 1 | | 1 | 2 | 28 | 2 | |
| 上砂川小学校 | 1 | 1 | 24 | | 1 | | 1 | 1 | 28 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | 1 | 1 | 29 | 2 | |
| 新生小学校 | 1 | 1 | 22 | 2 | 1 | | 1 | 2 | 28 | 2 | 1 | | | | | 2 | 1 | 1 | 0 | 5 | 28 | 7 | |
| 小学校計 | 20 | 20 | 346 | 43 | 20 | 3 | 20 | 21 | 472 | 21 | 20 | 8 | 1 | 30 | 6 | 13 | 16 | 9 | 5 | 51 | 57 | 523 | 78 |
| 立川第一中学校 | 1 | 1 | 20 | 3 | 1 | | 1 | | 27 | 0 | 2 | | | | 1 | | | | 1 | 2 | 28 | 2 | |
| 立川第二中学校 | 1 | 1 | 21 | 3 | 1 | | 1 | | 28 | 0 | 2 | | | | 1 | 1 | | | 1 | 3 | 29 | 3 | |
| 立川第三中学校 | 1 | 1 | 20 | 2 | 1 | | 1 | 2 | 26 | 2 | 2 | | | | 1 | 1 | | | 1 | 3 | 27 | 5 | |
| 立川第四中学校 | 1 | 1 | 21 | | 1 | | 1 | 1 | 25 | 1 | 2 | | | | 1 | | | | 1 | 2 | 26 | 3 | |
| 立川第五中学校 | 1 | 1 | 33 | 4 | 1 | | 1 | 1 | 41 | 1 | 2 | | | | 1 | | | | 1 | 2 | 42 | 3 | |
| 立川第六中学校 | 1 | 1 | 16 | 3 | 1 | 1 | 1 | | 24 | 0 | 2 | | | | 1 | 1 | | | 1 | 3 | 25 | 3 | |
| 立川第七中学校 | 1 | 1 | 21 | | 1 | | 1 | | 25 | 0 | 2 | | | | 1 | | | | 1 | 2 | 26 | 2 | |
| 立川第八中学校 | 1 | 1 | 14 | 2 | 1 | | 1 | | 20 | 0 | 2 | | | | 1 | | | | 1 | 2 | 21 | 2 | |
| 立川第九中学校 | 1 | 1 | 17 | | 1 | | 1 | | 21 | 0 | 2 | | | | | 2 | | | 0 | 4 | 21 | 4 | |
| 中学校計 | 9 | 9 | 183 | 17 | 9 | 1 | 9 | 4 | 237 | 4 | 18 | | | | 8 | 5 | | | 8 | 23 | 245 | 27 | |
| 合計 | 29 | 29 | 529 | 60 | 29 | 4 | 29 | 25 | 709 | 25 | 38 | 8 | 1 | 30 | 6 | 21 | 21 | 9 | 5 | 59 | 80 | 768 | 105 |

*1 右欄の数字は嘱託員等の数で外数

(5) 通学区域

(平成24年5月1日現在)

| 学校名 | 通学区域 |
|---------|---|
| 第一小学校 | 柴崎町1～6丁目(全町) |
| 第二小学校 | 曙町1丁目11～37, 2・3丁目, 高松町3丁目15(11～19), 16(9～16), 17(10～16), 18(9～15), 19(12～14), 20(9～14), 21(12～19), 22～32 |
| 第三小学校 | 錦町1・3・4・6丁目 |
| 第四小学校 | 富士見町1・2丁目, 3丁目1～9, 4・5丁目, 曙町1丁目1～10 |
| 第五小学校 | 高松町1・2丁目, 3丁目1～14, 15(1～10, 20～25), 16(1～8, 17～22), 17(1～9, 17～19), 18(1～8, 16～21), 19(1～9, 15～19), 20(1～8, 15～20), 21(1～11, 20～25), 栄町3丁目1～29, 4丁目1～43, 緑町 |
| 第六小学校 | 羽衣町1～3丁目(全町) |
| 第七小学校 | 錦町2・5丁目 |
| 第八小学校 | 栄町2丁目44～46, 4丁目44～47, 5・6丁目, 幸町1～3丁目 |
| 第九小学校 | 砂川町1丁目31～56, 2丁目1～64, 3丁目1～25, 4丁目1～47, 5丁目15(2～3), 16～20, 上砂町2丁目9～45, 3丁目12～61, 4丁目1～41, 一番町1丁目41～61, 2丁目1～13, 4丁目1～16 |
| 第十小学校 | 柏町1・2丁目, 砂川町1丁目1～30, 57～67, 5丁目1～14, 15(1・4～6), 21～54, 6丁目1～3, 4(1～10), 5～26, 泉町1156 |
| けやき台小学校 | 若葉町1・2丁目 |
| 西砂小学校 | 一番町6丁目18～29, 西砂町1～7丁目(全町) |
| 南砂小学校 | 栄町1丁目6～39, 2丁目1～43, 47～69, 3丁目30～63 |
| 若葉小学校 | 若葉町3・4丁目 |
| 幸小学校 | 幸町4～6丁目 |
| 松中小学校 | 一番町2丁目14～49, 3丁目, 4丁目17～73, 5丁目, 6丁目1～17 |
| 大山小学校 | 砂川町2丁目65～71, 上砂町1丁目, 2丁目1～8, 3丁目1～11, 一番町1丁目1～40 |
| 柏小学校 | 柏町3～5丁目, 砂川町6丁目4(11～13), 27～48, 7丁目1～39(4を除く), 51～55 |
| 上砂川小学校 | 砂川町3丁目26～47, 4丁目48～72, 7丁目4, 40～50, 56～60, 8丁目, 上砂町4丁目42～56, 5～7丁目 |
| 新生小学校 | 富士見町3丁目10～21, 6・7丁目 |
| 立川第一中学校 | 第一小学校・第四小学校区 |
| 立川第二中学校 | 第二小学校・第五小学校・南砂小学校区 |
| 立川第三中学校 | 第三小学校・第六小学校・第七小学校区 |
| 立川第四中学校 | 幸小学校・柏小学校区 |
| 立川第五中学校 | 第九小学校・大山小学校・上砂川小学校区 |
| 立川第六中学校 | 第八小学校・第十小学校区 |
| 立川第七中学校 | 西砂小学校・松中小学校区 |
| 立川第八中学校 | 新生小学校区 |
| 立川第九中学校 | けやき台小学校・若葉小学校区 |